



やまずんのQA概論

テストの街例大祭2024@亀有地区センター
2024.12.28(土)
Keynote

やまずん

Dirty Tester

バキバキQA

自己紹介

- Dirty Tester/バキバキQA
 - バキバキQAチャンネル主
 - パーフェクトQAパーフェクトスタイル
- SaaS企業のQA
- 職業歴
 - 営業
 - テストベンダー
 - 自社QA
- MOS検定2008スペシャリストExcel
- from大阪

Dirty tester

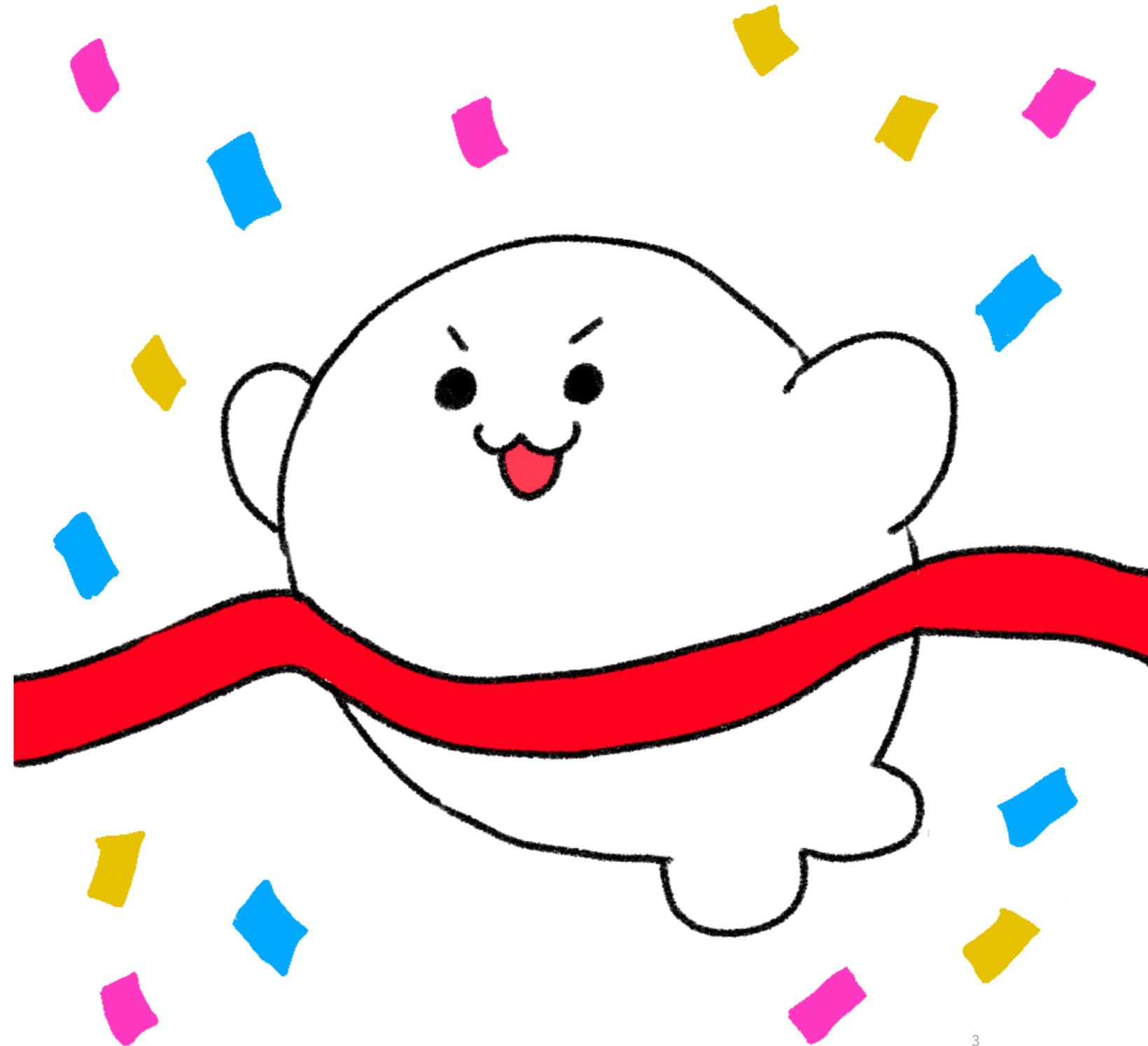


DirtyTesterやまずんのワイワイワールド

やまずんに関係する情報をまとめる本です。

本発表のゴール

- QAに対するやまずんの理解を知ってもらおう



本発表における「テスター」とは

「**テストの専門家**」 or 「**テストが好き**な人」

くらいで捉えてください。

ソフトウェアのテストを担う人という意味で使っています

蔑称ではありません

そして私はテスターです

本発表における「QA」とは

「Quality Assurance」

のこと

Question Askerではないです

「品質」を「保証」することです

私はテスターですが、QAエンジニアでもあります

本発表のスタンス

人によって考えが違うのは**正しい**

コンテキストが別だから結論が違うのは**正しい**

だからといって

「人によって考えが違う」

と**言語化から逃げる**のは**違う**

「コンテキストが別だから」

と**背景の相互理解から逃げる**のは**違う**

と**考えている**

本発表の注意

- 大学などの専門機関や権威のある先生から習ったわけでは
ありません。
- 市井のQAとして泥臭くもがいた結果がこのスライドです
- 興味があったら自分でも調べる強い気持ちを持って欲しい
- あんまりまとまった発表でもないです
- 素朴理論

今年をやました

QAなんも
わからん会

- 念願のQAエンジニアになりました
- そして「QAなんもわからん会」に参加したせいで、自分の品質に対する価値観を言語化してしまった
- だいたいぜんぶnacoさんのせい naco
- そんな中で、「きちんと品質について勉強したい」と思って「TQC」に手を出してしまった
- 半年で10万以上本に投資した
 - ただ、個人的にはそれに見合うリターンがあったと思っている

品質に感じる闇

品質の話をするのが怖いと感じるのは私だけ？

- 「お前は勉強していないから品質が理解できていない」という難しい話
 - 「私は品質を勉強しました」から感じるマウント感
- 「品質管理には歴史があるから素人が語るべきではない」という風潮
 - 「QAなんもわからん」と言わなきゃいけない同調圧力
- 権威があることは理解できるが、その権威のありがたみを理解していない自分
- 日本VS欧米という古の構造
 - そして欧米下げ
- 本をはじめ、学習コスト（金銭面）やハードルが高く感じる

品質に感じる闇



品質の話をするのが怖いと感じる？

● 「お前は勉強していないから品質が理解できていない」という難しい話

● 「私は品質を勉強した」「怖さ」を感じたとしても

● 「品質管理には歴史があるから素人が語るべきではない」という風潮

● 「QAなんでもからん」と言わせない同調圧力
先人の人々を尊重しつつも乗り越え

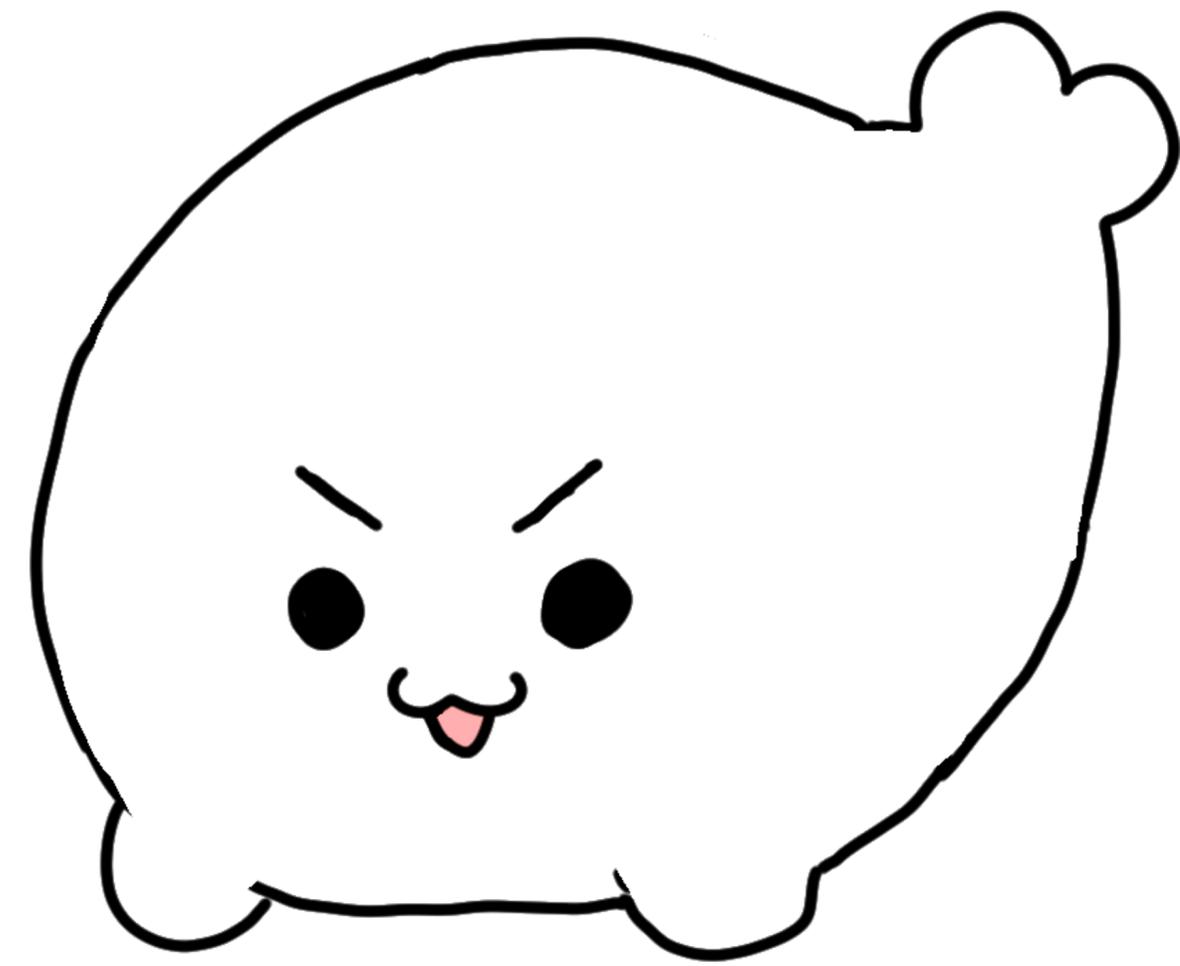
● 権威があることは理解できるが、その権威のありがたみを理解していない自分

● 日本VS欧米という古の構造
自分なりに整理するのが

● そして欧米下げ

この発表の趣旨

● 本をはじめ、学習コスト（金銭面）やハードルが高く感じる

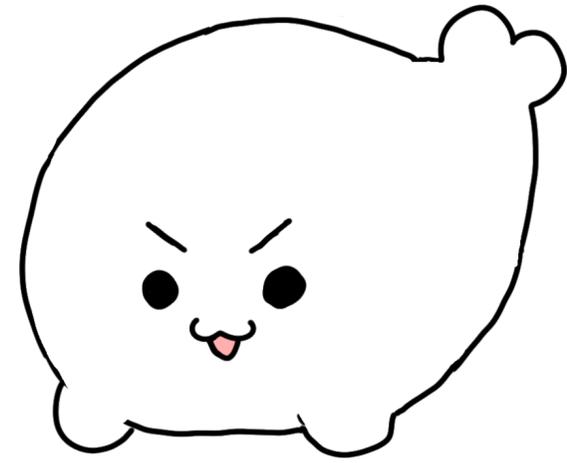


品質ってなんなの？ Part1

「品質とは」を考える

- 品質とは何かと問われたとき、一般的には製品やサービスが本来の目的や仕様に適合しているかどうか、顧客の期待や要求を満たしているかどうか、さらにはその価値がどれほどの持続性を持ち、使い手にどれだけの満足感を与えるかといった多岐にわたる要素を含む概念として説明されることが多いものの、その内容は時代や文化、個々の価値観、さらには市場環境やビジネスモデルの変化によっても異なり、つまるところ「品質」という言葉自体が指し示す範囲が非常に広く、これを一言で説明することは極めて難しいため、どうしても長々とした説明を伴ってしまうものだと言えるのです。

- With ChatGPT-4o

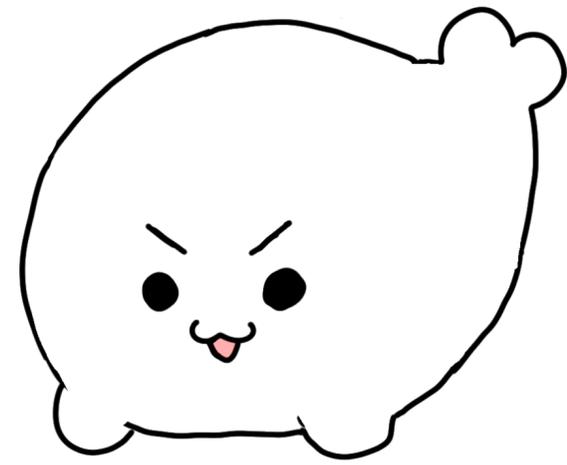


品質について
長々と講釈垂れ
る人いるよねえ

「品質とは」を考える

- 品質とは何かと問われたとき、一般的には製品やサービスが本来の**目的や仕様に適合**しているかどうか、**顧客の期待や要求**を満たしているかどうか、さらにはその**価値がどれほどの持続性**を持ち、使い手にどれだけの**満足感を与えるか**といった多岐にわたる要素を含む概念として説明されることが多いものの、その内容は時代や文化、個々の価値観、さらには市場環境やビジネスモデルの変化によっても異なり、**つまるところ「品質」という言葉自体が指し示す範囲が非常に広く**、これを一言で説明することは極めて難しいため、どうしても長々とした説明を伴ってしまうものだと言えるのです。

- With ChatGPT-4o



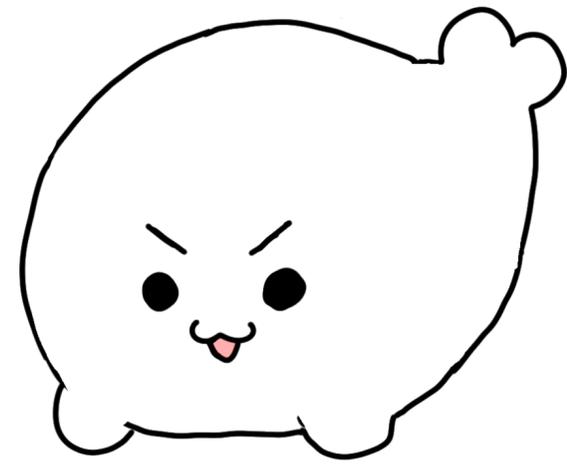
ChatGPTに言わせただけやろ

「品質とは」を考える前に

「品質とは」を考える前に

「**品質がどう扱われているか**」を考える

- 「品質保証」や「品質管理」を先に考える
- 「何を保証したくて、何を管理したいんだろう？」
から考えるというアプローチ

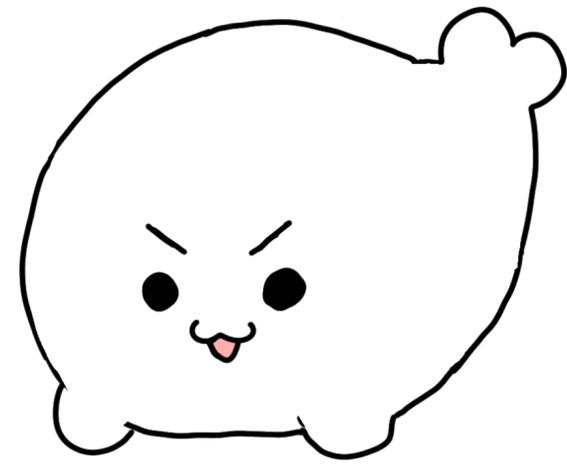


品質って都合の
いい言葉として
使われがちだよ
ね～

品質管理と品質保証

品質管理と品質保証は文化的な印象があるっぽい

- 品質管理と品質保証ってどう違うの？
- 品質管理っぽいってなにがありますか？
- 品質保証っぽいってどんなのがありますか？



結局同じような
難しい話してない？

品質管理と品質保証にはいろんな受け取り方がある

品質管理と品質保証の意味について

日本(TQC)と欧米 (ISO) では若干ニュアンスが異なる

TQC

品質を中核とした全員参加での改善を重視する経営のアプローチ

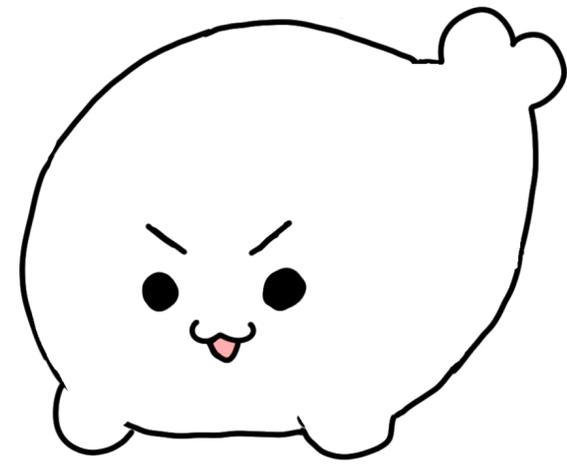
- 品質保証…顧客が満足する製品・サービスを提供すること、あるいはそのための活動
- 品質管理…品質保証をするための活動
- 品質…「顧客に受け入れられる」ということ

品質マネジメントシステム (ISO)

方針、目標、達成のためのプロセスを決めるための組織の一要素

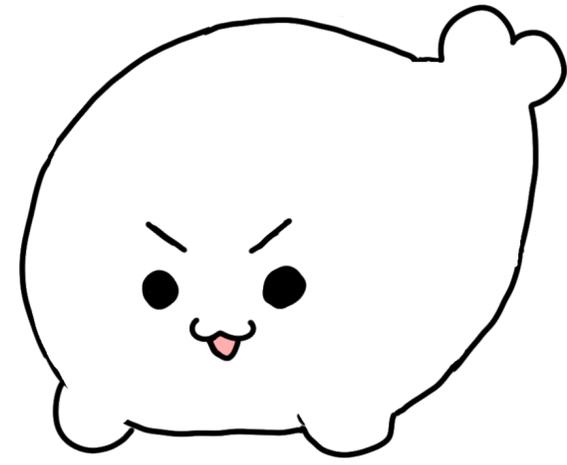
- 品質保証…品質要求事項が満たされるという確信を与える
- 品質管理…品質要求事項を満たすこと
- 品質要求事項…品質に対して要求する事項
- 品質…明示されている、通常暗黙のうちに了解されている、義務として要求されている、ニーズ又は期待

JIS X:9000 : 2015 (ISO 9000 : 2015)



欧米ってくくりも雑だし
ISO = 欧米ってするのもどうなのかなあ

TQCとISOにおける品質管理と品質保証の違い



理解するのは大事だけど、間違ってるなら訂正しなよ

- TQC
 - 品質保証のために品質管理を行う
 - **目的-手段の関係**
- ISO
 - 品質管理を行い、その実証として品質保証を行う
 - **実行-確認の関係**

TQCにおける品質管理は“品質”が具体的に何を指すかを探索することも含まれる

ISOは”品質要求事項“を定義して、それ目指してを頑張る

という理解をした

TQCとISOにおける品質管理と品質保証の違い



TQCとISOで
“品質”をどう扱うかの
意識に違いがありそうだ

品質をどう扱うか？でQCやQAっぽいかわる

例えば

品質をコミットメントとして扱いたい

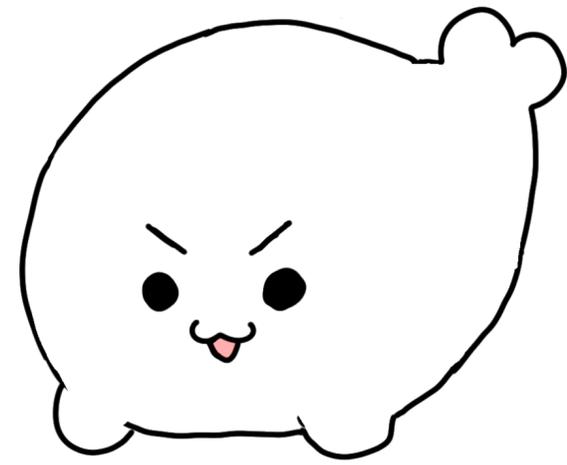
- ISO的な考え方で品質要求事項を決めてから管理や保証をしたい

例えば

品質を組織の目的として扱いたい

- TQC的な考え方で顧客満足を目指して管理や保証したい

どれが正しいってことはないよね
だけど「わたしはどっち派か」によって
QAやQCの責務や仕事内容は異なりそうだニヤ



これって合ってるのかなあ？きちんとQMSの勉強したら考えかわるんじゃない？

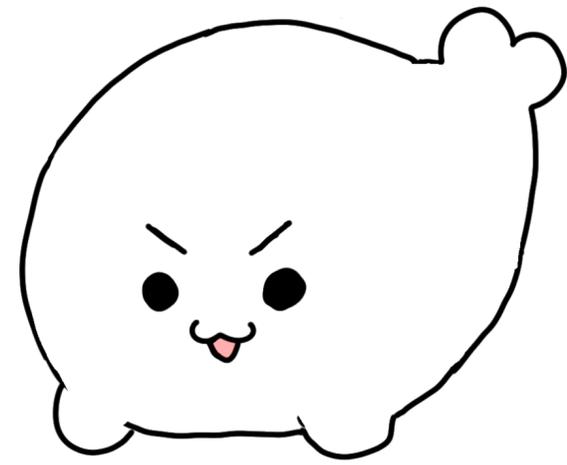


参考：JSTQBにおける品質管理と品質保証

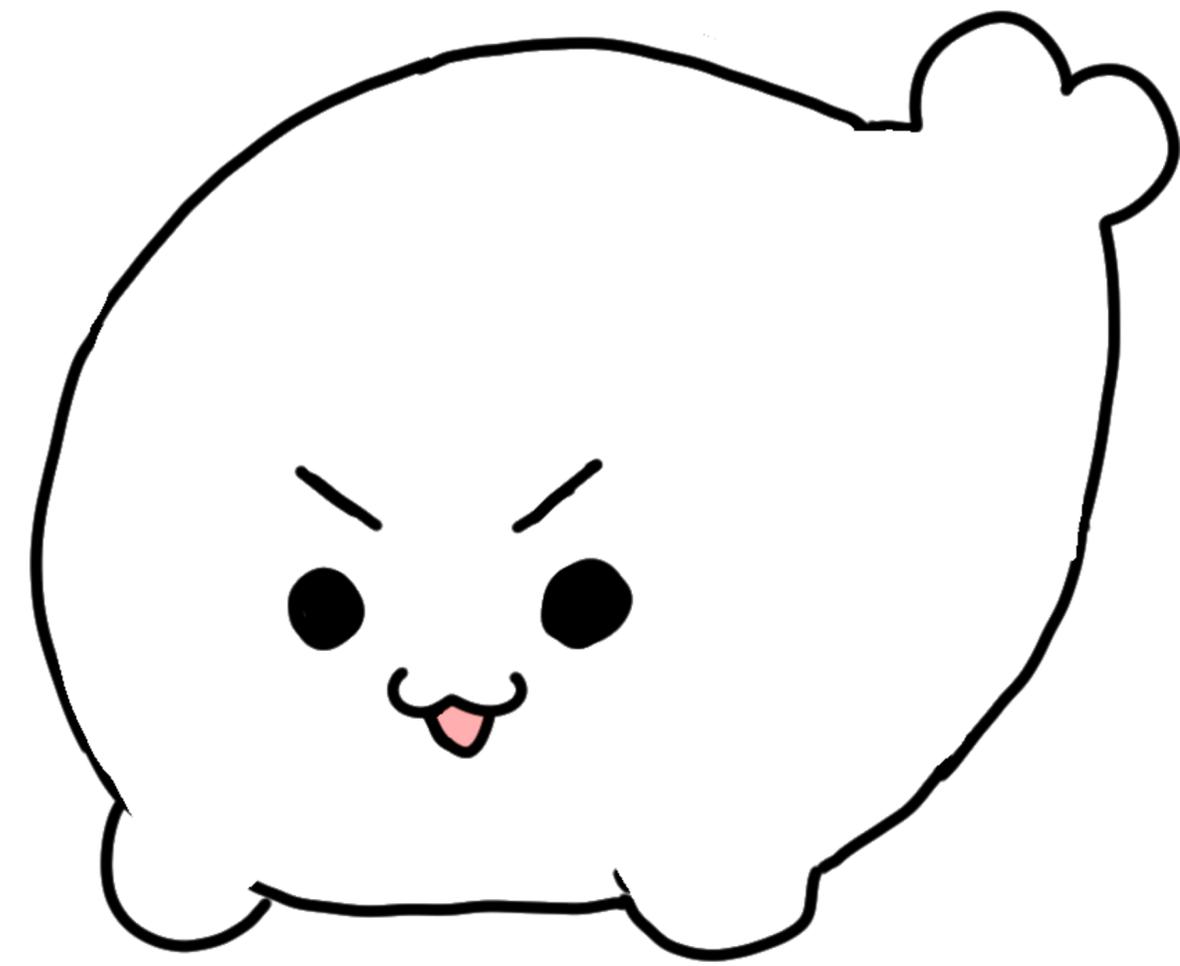
QCは適切な品質の達成を支援する活動に焦点を当てた、プロダクト志向の是正アプローチである。テストは品質コントロールの主要な形式であ(略)る。

QAはプロセスの実装と改善に焦点を当てた、プロセス志向の予防的アプローチである。よいプロセスが正しく行われれば、よいプロダクトをつくることのできるという考えに基づいている。

JSTQB FLシラバス4.0 p18



これ誰が言い出したの話なんだろう

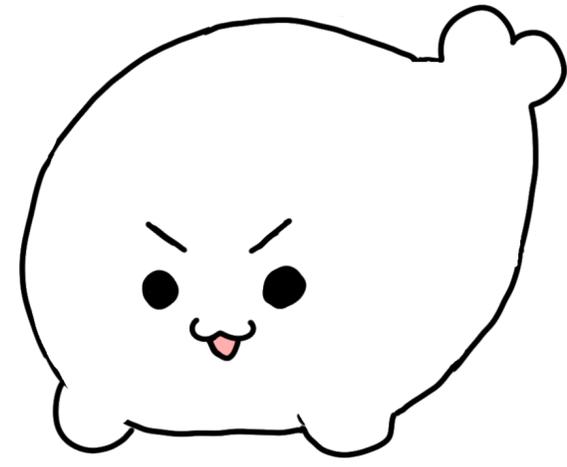


日本における品質保証から学ぼう

日本における品質保証とは

- 戦後、日本の産業界が欧米の品質保証の考えを（ほんまに）**魔改造**して**体系化**したもの
- 現在はTQMとして確立しているような気がする
- TQMの考え方は今でも通じるとやまずんは思っている

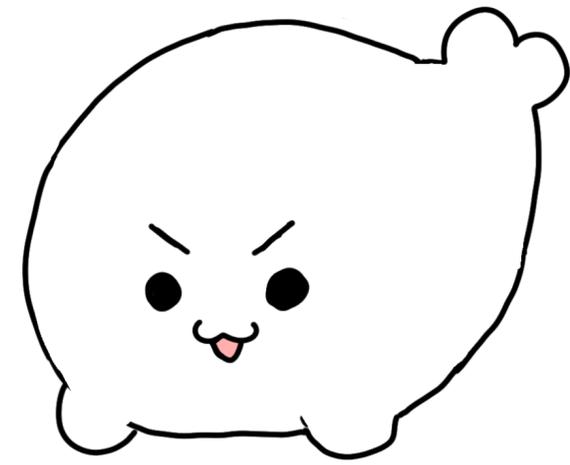
というわけでこれからこの話をします



日本における食の魔改造と品質の魔改造は似ているよねえ

日本における品質保証の歴史（超概略）

- 戦前は欧米流の検査検品主義、なんなら安かろう悪かろうの時代
 - 統計的品質管理（SQC）の導入
 - 新製品開発の品質保証
 - TQMの確立
- ～紆余曲折～（わからないだけ）
- ソフトウェアの時代へ（Now）



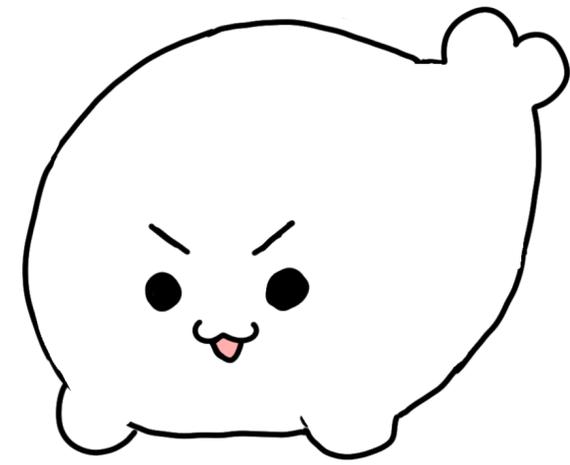
この紆余曲折の
部分を知りたい
んだけど

「品質保証」の歴史はソフトウェア開発より長い
ソフトウェア開発が主流じゃなかった頃から存在する
だからソフトウェア開発には当てはまらないパラダイムも存在する

ソフトウェア開発の品質保証を考える

ハードウェアの開発にあって、ソフトウェアにないもの

- 量産工程がない
 - **できばえのばらつきがない**
- 最終成果物に**物的な実体がない**
 - 一層成果の可視化・文書化が求められる
- 自然法則を受けない
 - **論理的な組み合わせが爆発的に増える**

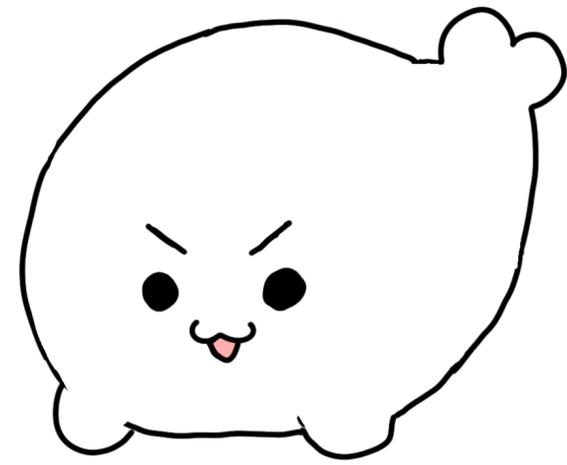


ハードウェアとソフトウェアはいろいろな特徴が違うんだねえ

ソフトウェアのテストの難しさ

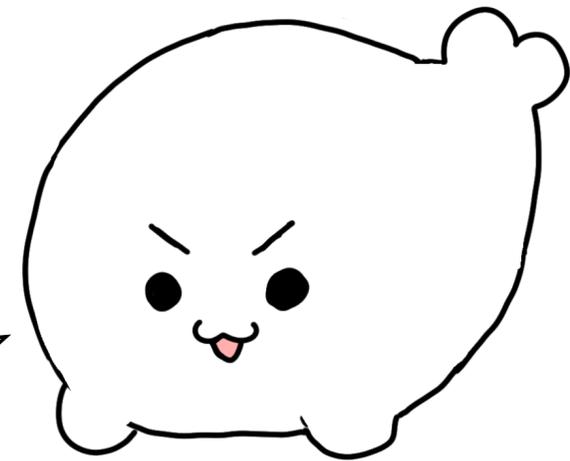
テストのやり方も変わってくる

- 物質的な連続性がないので、「正しいこと」を確認できない
- 例：1ミリ隣の鉄板の厚さは1ミリ隣と同じであることはある程度保証できるが、ソフトウェアの場合はこういった連続性がない
- **いわゆる「ソフトウェアは決めきれない」問題**
- 設計工程の品質保証がキモになってくる（次のページ）



ソフトウェアテストの話も変わってくるよねえ

製品開発（品質保証）プロセスの違い

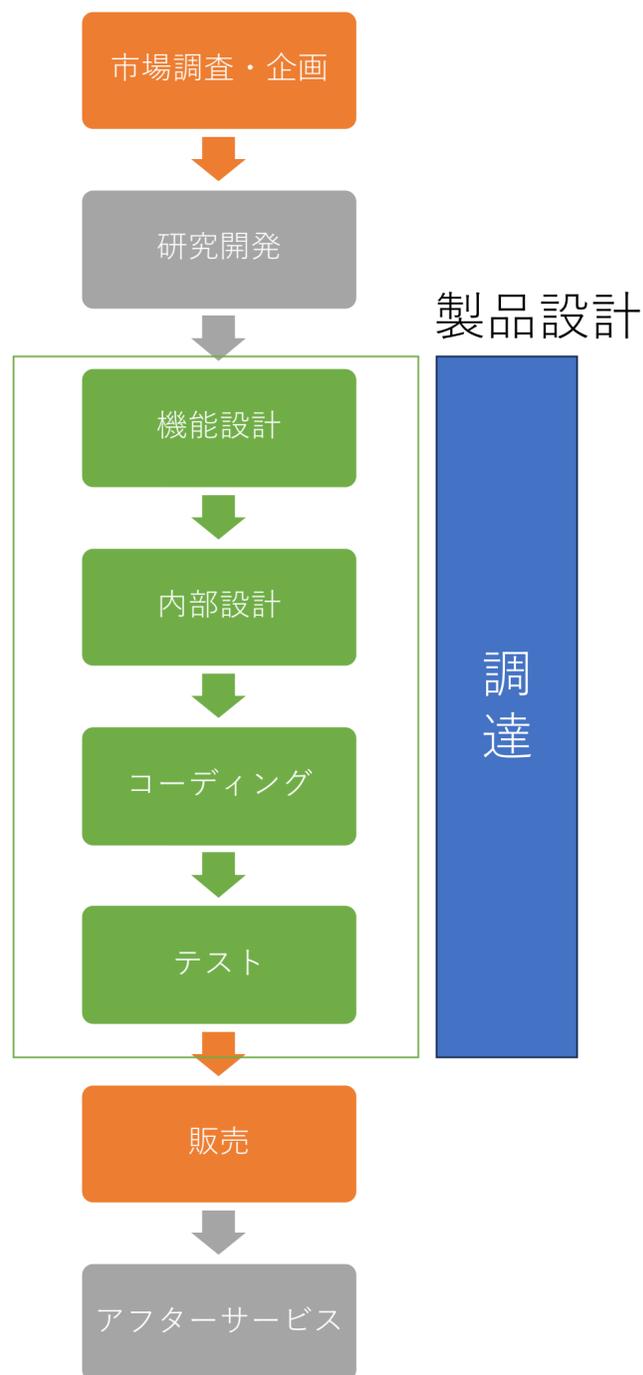


プロセスがカラフルでかわいいねえ

組み立て製品



ソフトウェア製品



ソフトウェア製品は、物理的なインストールや複製といった「生産」が容易であるという特徴がある
そのため、「製品設計」の品質保証が重視される

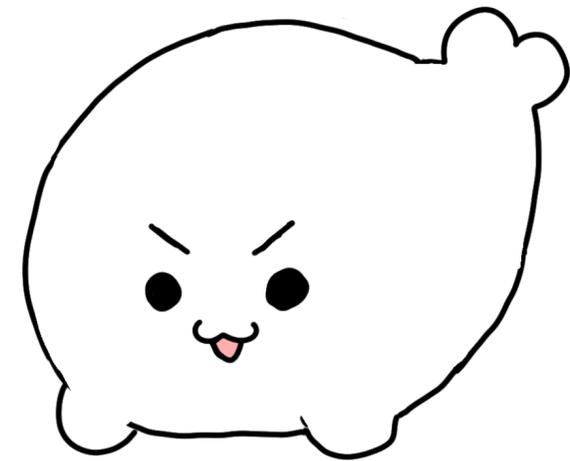
新版品質保証ガイドブック p54から抜粋

やまずんのソフトウェア品質保証観

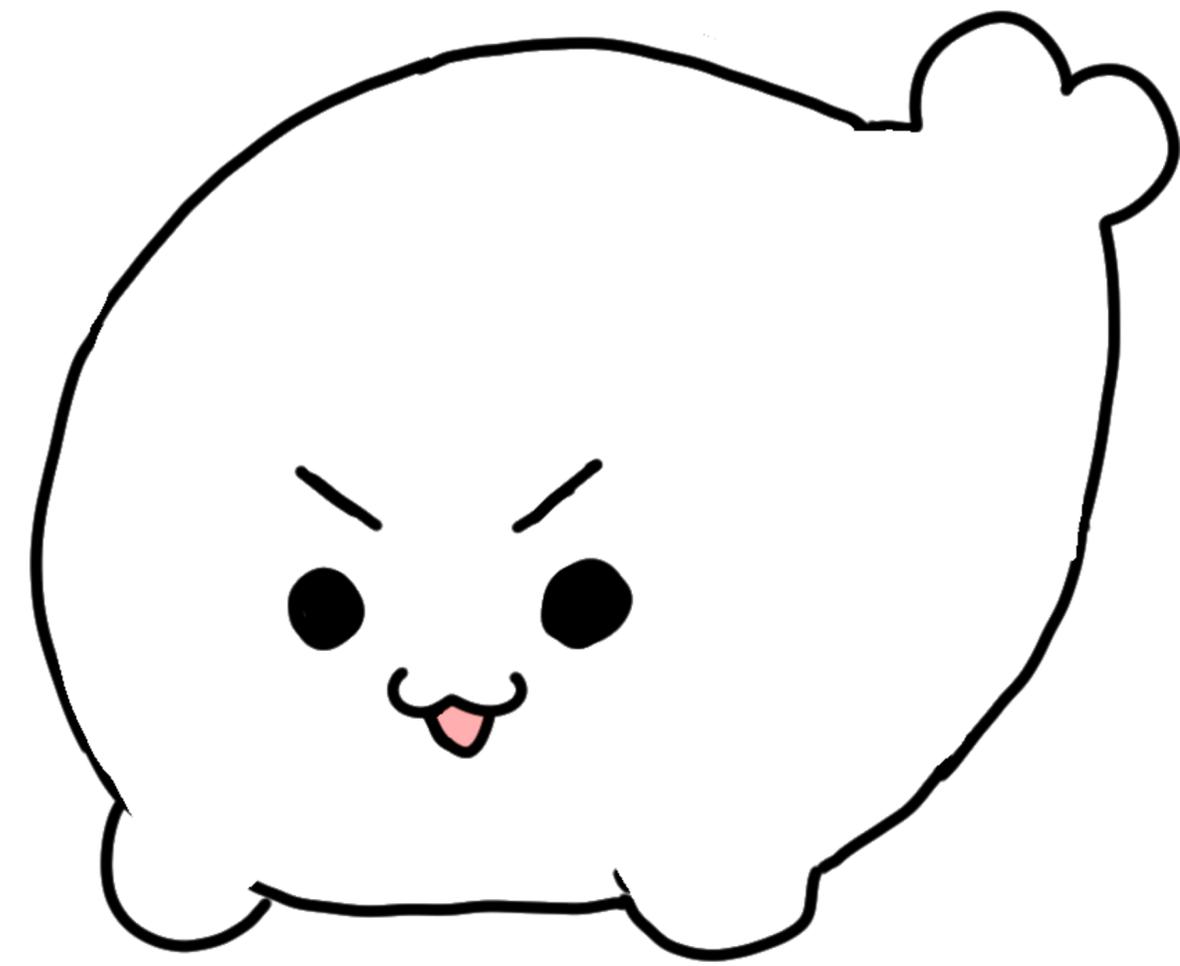
ソフトウェアの品質保証において、

- 「QAだけがQAやってたらQAです」というのは無理やと思ってる
- 「全員参加」「顧客志向」といったTQMの考えはソフトウェア開発に活かせる

だからここから品質保証の原則の話をしたい

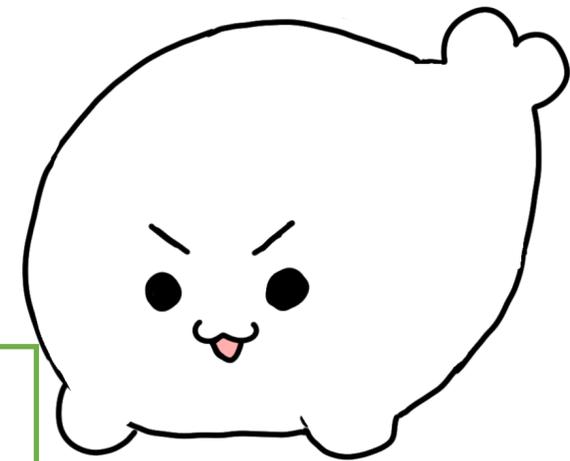


QAがQAしてるからQAだからもうQA!



日本の品質保証の原則

品質保証の原則



1.目的

マーケットイン
後工程はお客様
品質第一

2.手段

プロセス重視

標準化

源流管理

PDCAサイクル

再発防止

未然防止

潜在トラブルの顕在化

QCD結果に基づく管理

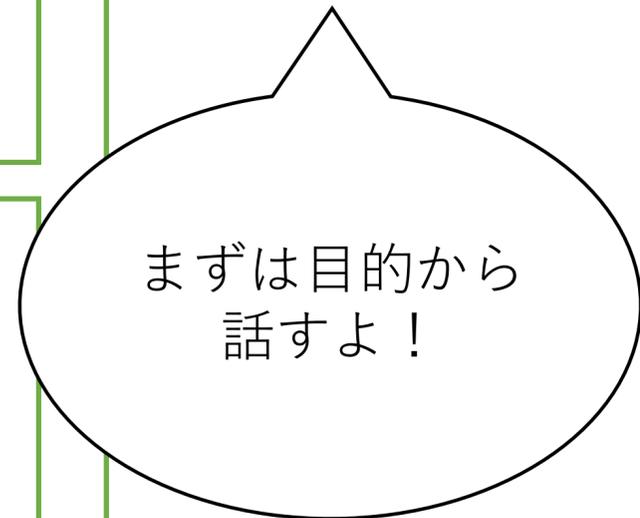
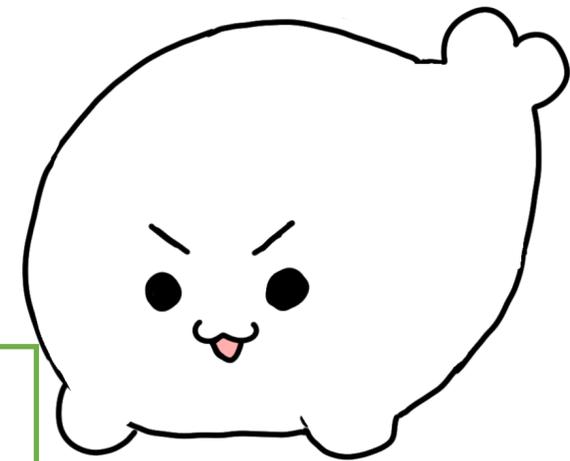
重点思考

事実に基づく管理

3.組織の運営

リーダーシップ 全員参加 人間性尊重 教育・訓練の重視

品質保証の原則



1.目的

マーケットイン
後工程はお客様
品質第一

2.手段

プロセス重視

標準化

源流管理

PDCAサイクル

再発防止

未然防止

潜在トラブルの顕在化

QCD結果に基づく管理

重点思考

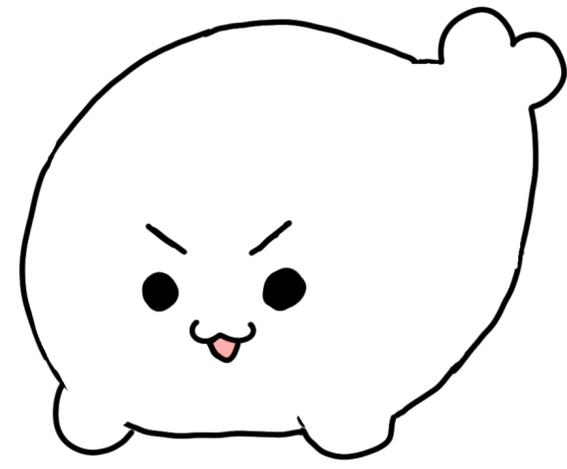
事実に基づく管理

3.組織の運営

リーダーシップ 全員参加 人間性尊重 教育・訓練の重視

マーケットイン（顧客重視）

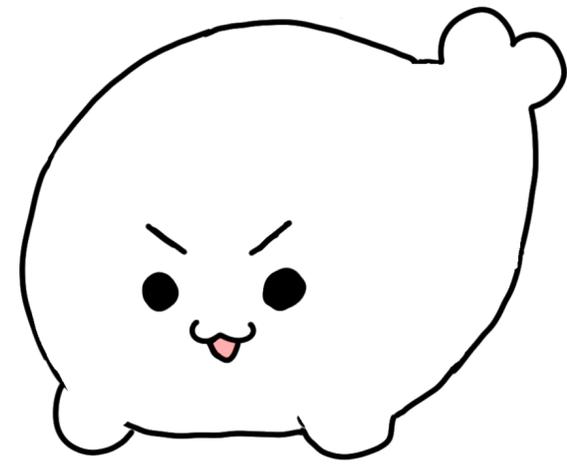
- 提供側の技術や都合（**プロダクトアウト**）より、顧客のニーズが大事という考え（**マーケットイン**）
- 「クレーム0だからOK」ではない
- 不具合の防止やコストダウンのみが目標なのも違う
- **常に顧客の視点で立つことが大事**という考え方



ぼくもぬいぐるみユーザーのこと考えてるんだ！

後工程はお客様

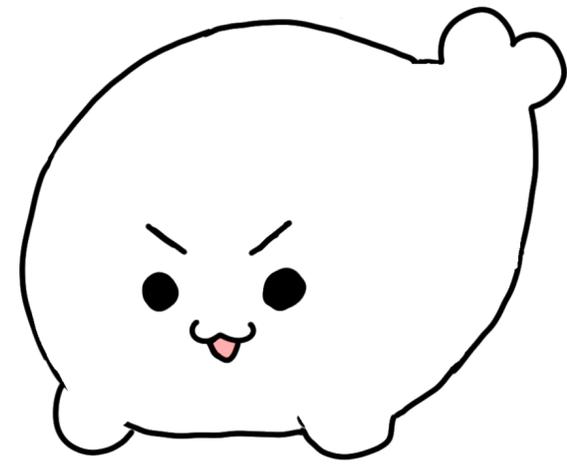
- 顧客と直接関係ない部門も自分を優先するのではなく、**お客様の代わりに後工程をお客様と捉える**こと
- 結果的に組織の隅々まで顧客志向が広がるという論理
- トイレのスリッパを揃えることは「後工程はお客様」らしい



お客様と直接接してなくてもいけるんだねえ

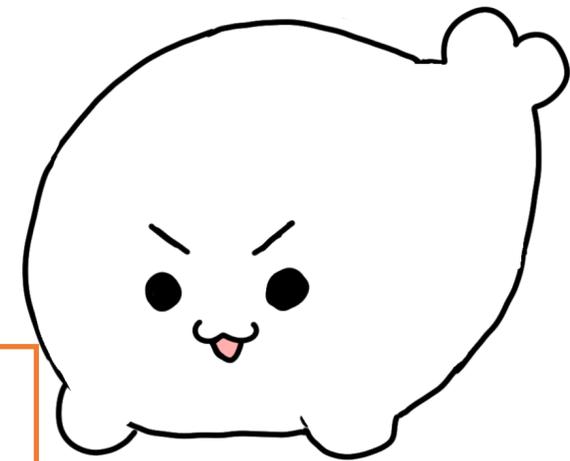
品質第一

- いい品質であれば市場でも勝てるという考え
- **顧客のニーズに合った製品を出すことは、売上増大、原価低減、能率向上より「目的として」優先する**という考え方
- これらを考えないというわけではなく、あくまで最優先にするという話
- 品質を重視することは結果的にスピードや効率も上がるみ
たいな話もある



過剰品質って言葉は誰がどんな文脈で言ったのかなあ

品質保証の原則



1.目的

マーケットイン
後工程はお客様
品質第一

2.手段

プロセス重視

標準化

源流管理

PDCAサイクル

再発防止

未然防止

潜在トラブルの顕在化

QCD結果に基づく管理

重点思考

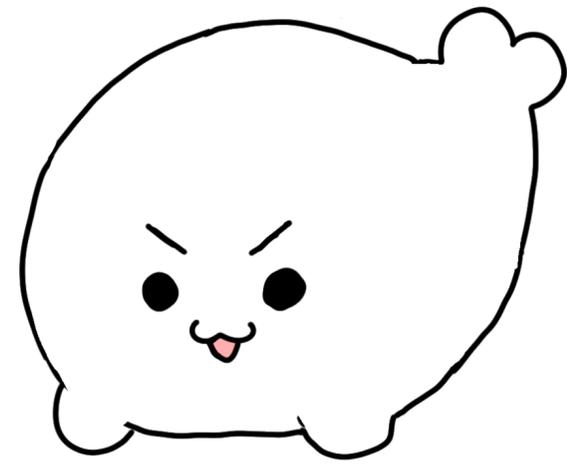
事実に基づく管理

3.組織の運営

リーダーシップ 全員参加 人間性尊重 教育・訓練の重視

プロセス重視

- 結果だけを追うのではなく**結果を生み出すプロセスを管理して、向上させよう**という考え方
- 「手順を決めてそれを絶対に遵守する」みたいなことではない
- ただ、そう言っている人はいることは事実
- 「結果さえ出せたらなんでもいい」ではなく、「良い結果を起こしたしくみややり方にきちんと目を向けよう」という考え

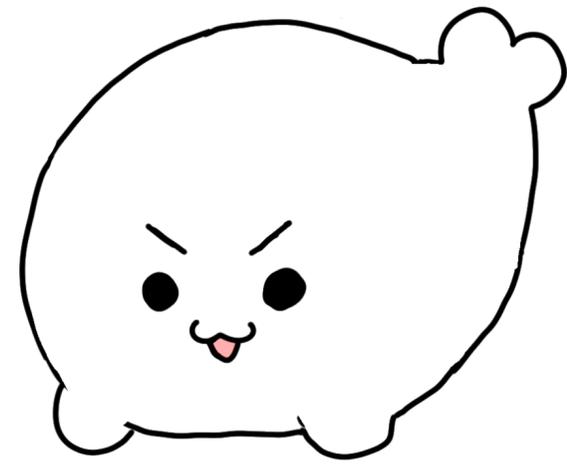


僕も小魚を食べるプロセスは大事にしてるよ！



標準化

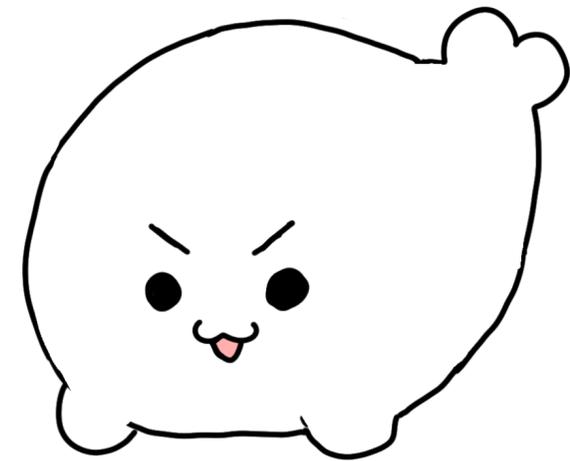
- 各々が勝手に行動するより、もっとも優れた方法を標準として定めて、これに沿って行動するのがいいよねという考え方
- 標準による効率化や認知の負荷を下げるのが狙い
- **標準自体の改善の必要も忘れてはいけない**
 - そもそも標準化されていないと叩き台もないって話もしている



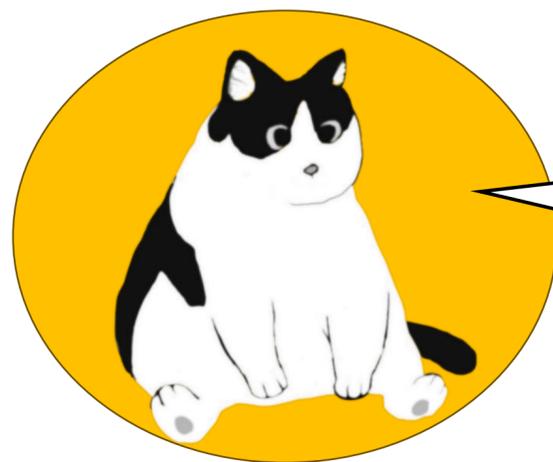
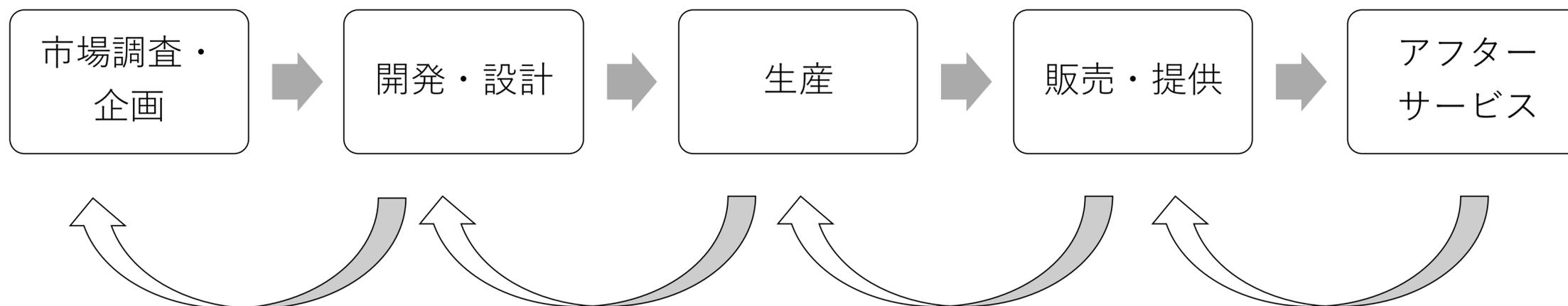
白くって丸いのも標準的なかわいいだよねえ

源流管理

- 仕事の流れの源流に遡って、品質を管理しようという考え方
- アジャイルでいうシフトレフトと一緒に思う

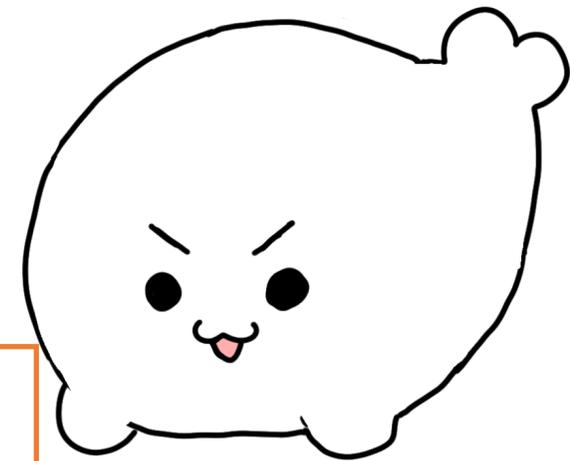


ノルウェーサーモンくんも源流管理で川を登るのかな



さかのぼれ、源流へ！

品質保証の原則



1.目的

マーケットイン
後工程はお客様
品質第一

2.手段

プロセス重視

標準化

源流管理

PDCAサイクル

再発防止

未然防止

潜在トラブルの顕在化

QCD結果に基づく管理

重点思考

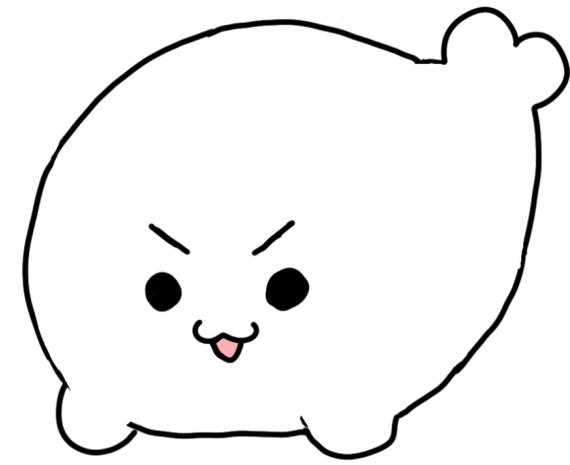
事実に基づく管理

3.組織の運営

リーダーシップ 全員参加 人間性尊重 教育・訓練の重視

PDCAのサイクル

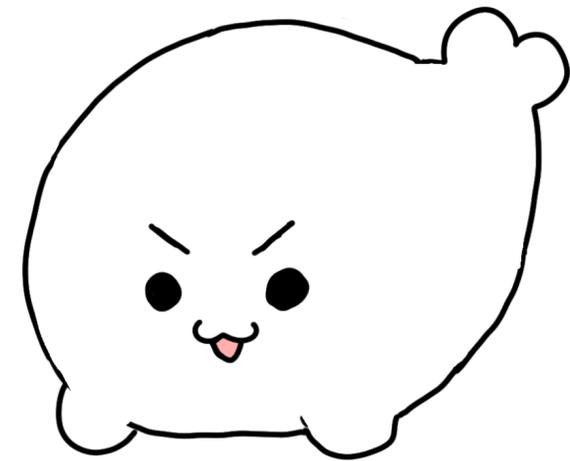
- 人間のプロセスに関する知識は常に不完全
- だから、**プロセスを設定してその結果を見ながら逐次的に修正することが大切**という考え方
- TQMでは「改善」と「管理」でアプローチを分けている
 - 改善→目標を現在の水準より高いところにおき、それを達成するための活動
 - 管理→目標を現在の水準におき、結果のずれを安定化させるための活動
- 失敗が少なくなった場合には、全く新しいプロセスの導入が必要であることを示唆している



廻せ！PDCA!

再発防止

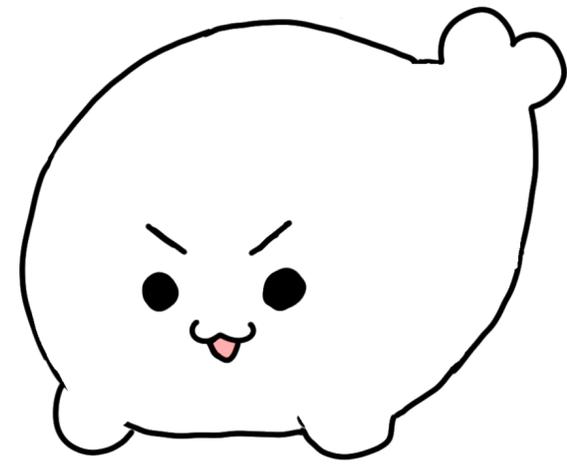
- 問題が発生した際は、現象に対する対処で満足するのではなく、プロセスに遡っての再発防止対策が必要だという考え方
- 再発防止には以下の三段階がある
 - 個別の再発防止
 - 水平展開
 - 根本原因の除去（製品やプロセスを生み出すしくみ）



僕も宿題忘れしないように気をつけないと

未然防止

- トラブルが発生する前に防止しようという考え方
 - 過去の失敗やトラブルを整理・一般化する
- 失敗を一般化する概念として「モード」という概念が使っているみたい



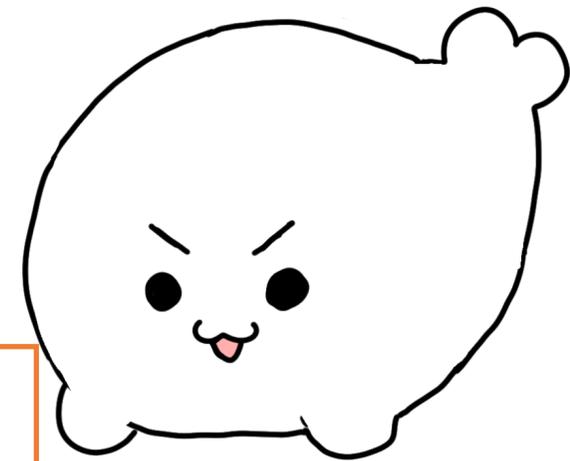
僕もお魚食べる
時に小骨抜いて
るよ！

潜在トラブルの顕在化

- 報告されていないトラブルも積極的に探そうという考え方
- いわゆる「氷山の一角」



品質保証の原則



1.目的

マーケットイン
後工程はお客様
品質第一

2.手段

プロセス重視

標準化

源流管理

PDCAサイクル

再発防止

未然防止

潜在トラブルの顕在化

QCD結果に基づく管理

重点思考

事実に基づく管理

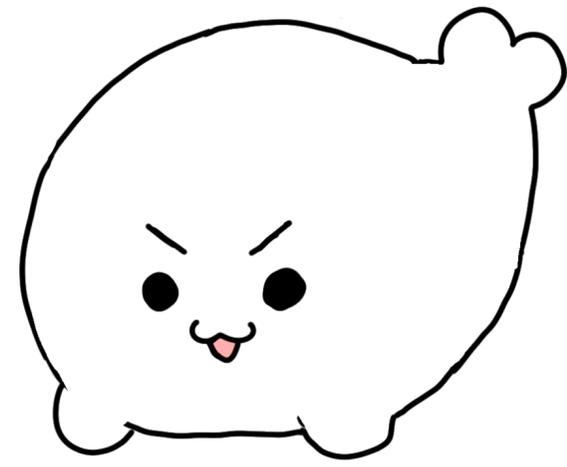
つぎは右

3.組織の運営

リーダーシップ 全員参加 人間性尊重 教育・訓練の重視

QCD(結果)に基づく管理

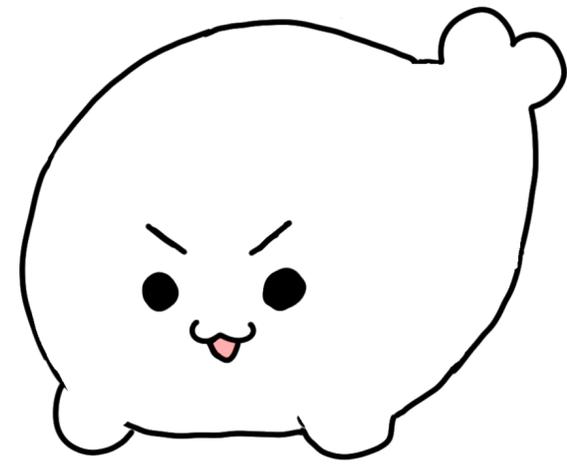
- プロセスをプロセスだけで評価するのではなく、**結果に着目して評価しよう**よという考え方
- 活動の実践において、「高次の目的はなにか」を考えて、その目的にそって適切な行動を考えようということ
- このためには個々のプロセスだけを考えるのではなく、組織全体で捉える必要がある



プロセスだけで
空中戦してる人
いるよねえ

重点思考

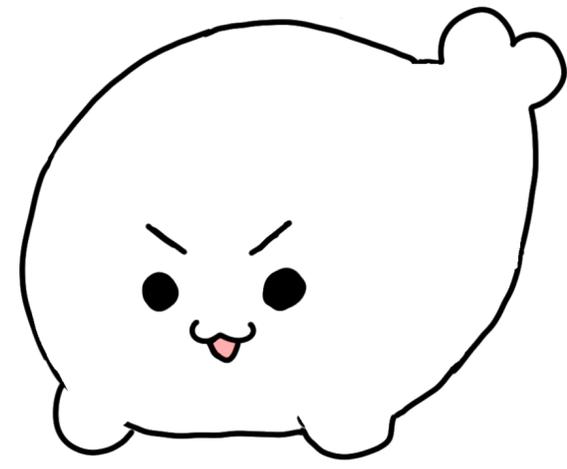
- **結果に大きな影響を与えている問題から取り組もう**
という考え方
- TOCとかスクラムのスウォーミングも近いかもしれない
- 例えば手順書の場合、すべての手順書を書くのではなく、重要な部分を書いて、影響が小さい作業は書かなくてもいいということも謳っている



地球温暖化問題を止めるために、太陽の動きを止めるんだ！

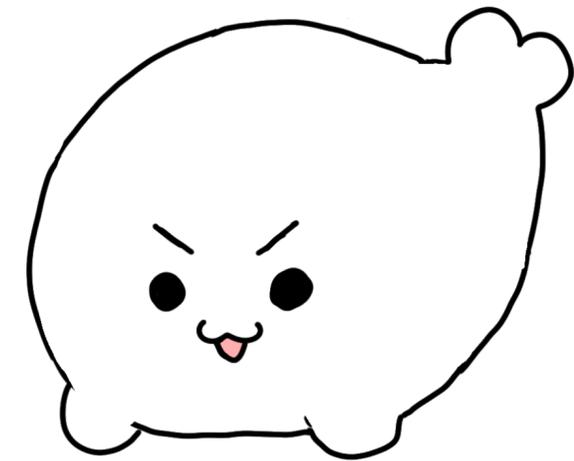
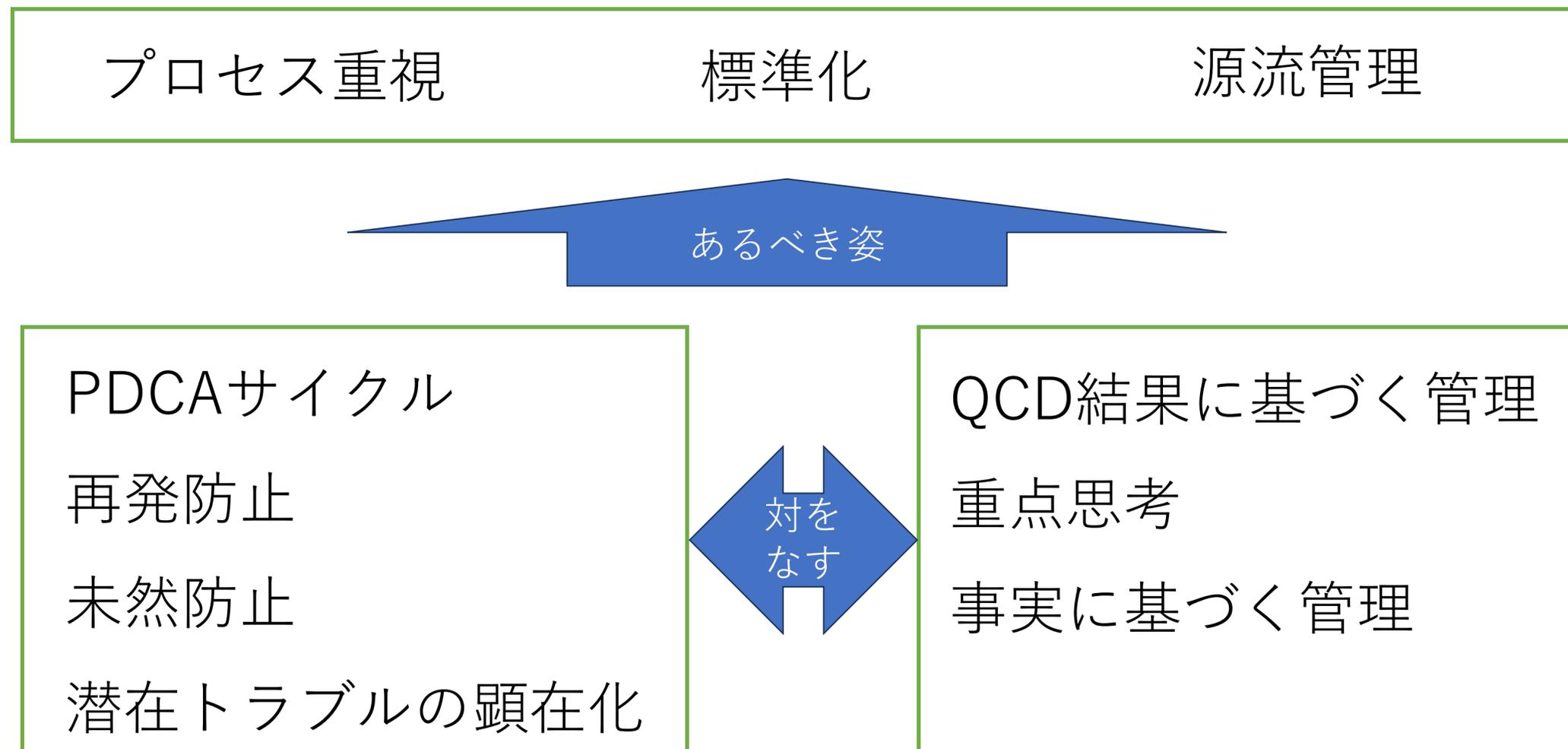
事実の基づく管理

- 勘や経験だけに頼るのではなく、**事実やデータに基づいて考える**という原則
- いわゆる三現主義（現場・現物・現実）
- TQMでは「統計的手法」を重視しているが、これはソフトウェアでは向き不向きがあるかもしれない



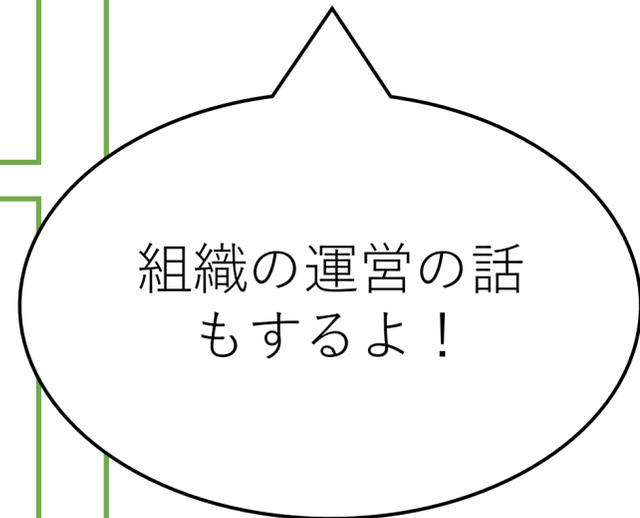
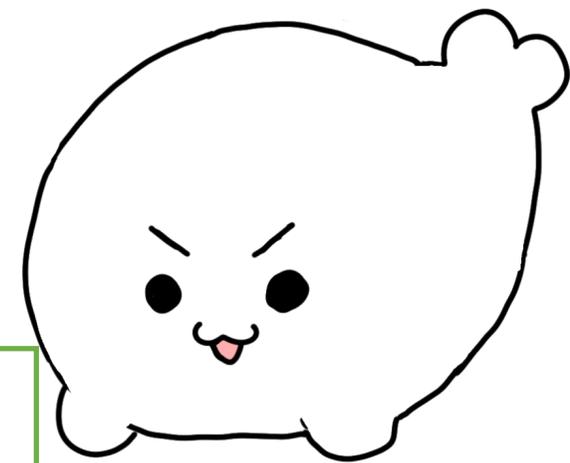
亀の甲より年の功よりデータだよ！

品質保証の原則



手段の中にもいろいろな構造があるんだねえ

品質保証の原則



1.目的

マーケットイン
後工程はお客様
品質第一

2.手段

プロセス重視

標準化

源流管理

PDCAサイクル

再発防止

未然防止

潜在トラブルの顕在化

QCD結果に基づく管理

重点思考

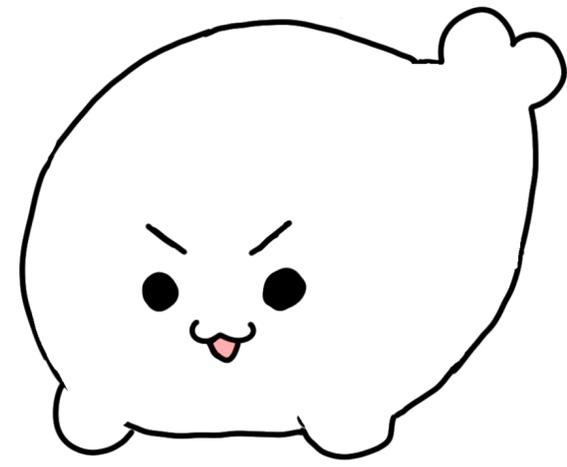
事実に基づく管理

3.組織の運営

リーダーシップ 全員参加 人間性尊重 教育・訓練の重視

リーダーシップ

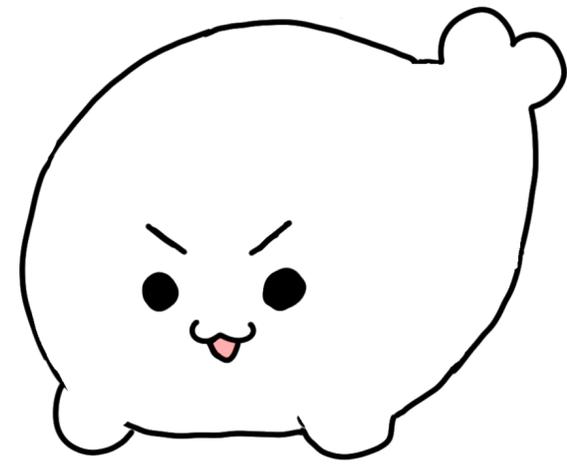
- 経営者・管理者が率先して顧客やステークホルダのニーズを考慮して、適切な役割を果たせという考え方
- TQMが経営の考え方と言われる所以だと思っている
- 各々がリーダーシップを持つという今風の考えというか、あくまでリーダーがリーダーシップを持つという考え方



リーダーしっかりしてよ！

全員参加

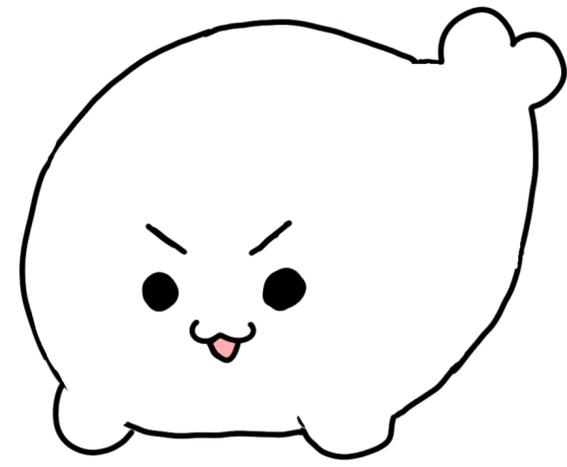
- 特定の人だけでなく、会社の全部門が全員参加でTQMを行うという考え方
- 共通の目標を持ち、部門間の障壁を取り除き、それぞれが自分の貢献と役割を理解した上で、知識や経験を共有して、問題・課題について自由に議論できるようにする
- **Whole Team Approach**やとおもう



シャチくんが狩りするときも全員参加でやるよね

人間性尊重

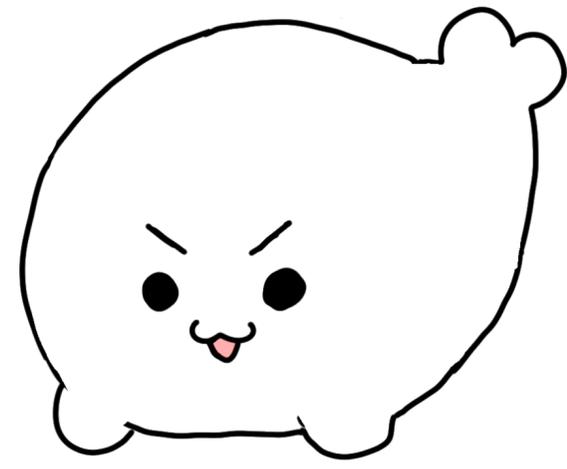
- 人間らしさ、人間の特性を十分に発揮できるようにする考え方
- 英知、想像力、企画力、判断力、行動力、指導力などの能力をフル活用できるようにする
- TQM成功の鍵とも言われている
- マズローの欲求の「自己実現」をやる
 - モチベーション3.0にも通じるよね



海獣性も尊重してほしいな

教育・訓練の重視

- 企業の発展を支えるためには、知識・技能・モラルの向上のために一人一人の能力を上げるために教育と訓練が必要という考え方
- 教育・訓練してるソフトウェア企業ってあるかな。あるか。



お勉強なんてや
だなあ

品質保証とは（まとめ）

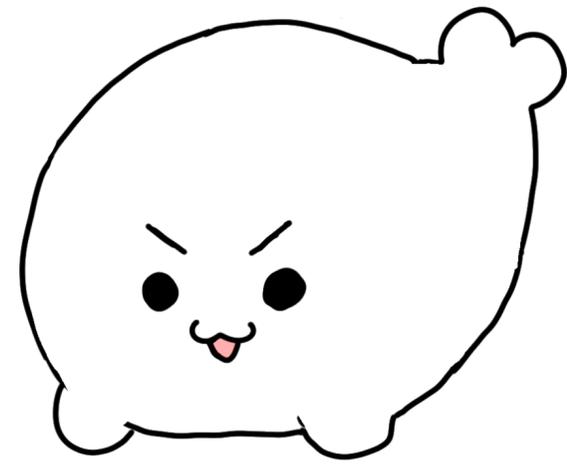
顧客満足のために

全員参加で

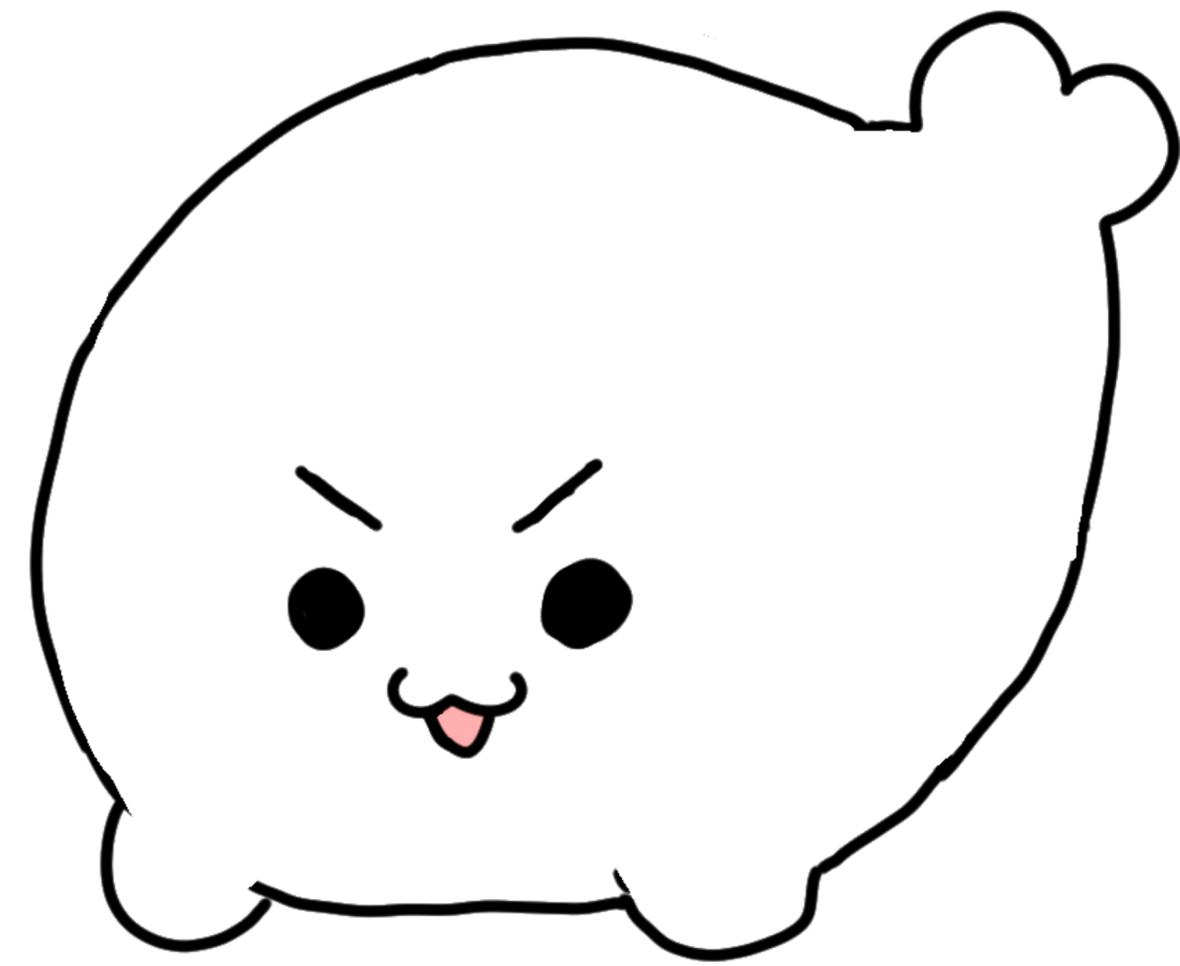
やるべきことを

きちんとやる

やと俺は思う



IYO (in
yamazun
opinion)

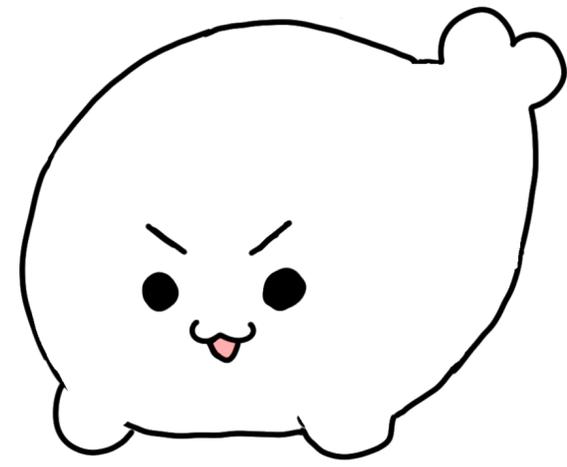


QAエンジニアを言語化する

QAエンジニアに関するミもフタもない話

- QAエンジニアは元々外国の言葉です
- 外国で品質保証とは第三者のテストのことです
- つまり **QAエンジニア = テスター** です

でも



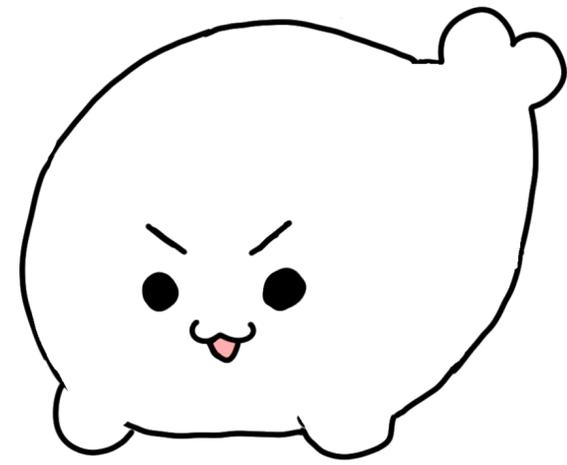
原点志向だね！

ももの提言



ももトイレ

TQMを言い訳に
自分の言いたい
主張しているだ
けじゃないよ
ね？



TQMがそうだったように
「日本におけるQAエンジニア」も
魔改造したい

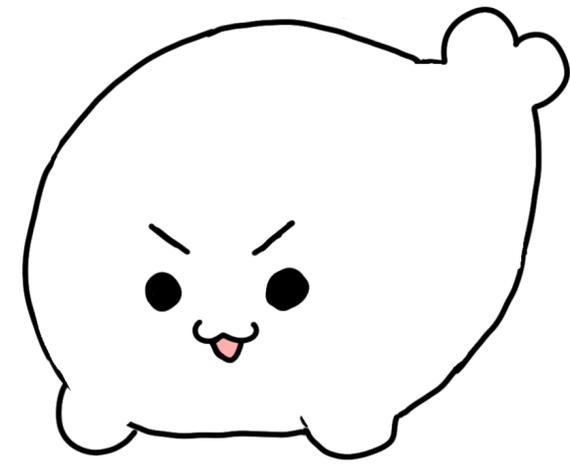
TQMにおけるテストの位置付け

- 調べてみてもよくわからなかった
 - ソフトウェア品質保証においては結構重要そうではある
- 一方で、品質保証 = テストかという No という気持ちがある
- 静的テストがあろうとなかろうと



“品質保証エンジニア”という呪い

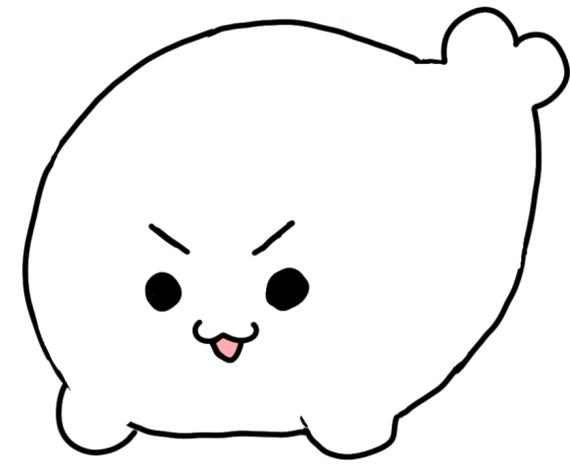
- 日本において品質保証は「全員参加」だった
- じゃあ「QAエンジニア」ってどうなんだ？
 - そもそもQAエンジニアという言葉自体日本語ではない気がするが、
- 少なくとも、日本語で「品質保証を担う」と言ってしまおうと**それ相応の覚悟**が必要な呪いにかかった



覚悟キマってから品質の話しろよ！

やまずんはQAとテストターの使い分けてる

- TQM立場に立つと、「品質保証」はテストの延長線上ではなく、**顧客満足を目指すすべての活動（またはその姿勢）**を指すっぽい
- そうなってくると、**すべてのロールはQAに関わっている**と言える気がしてきた
- **顧客満足のためにエンジニアリングしてたら全員QAという極論**
- 例えば山下さんは「テストに専門性があるQA」と名乗っている
- **「テストの専門性だけではないQA」が存在していることを仄めかしているつもり**



何言ってるんだ

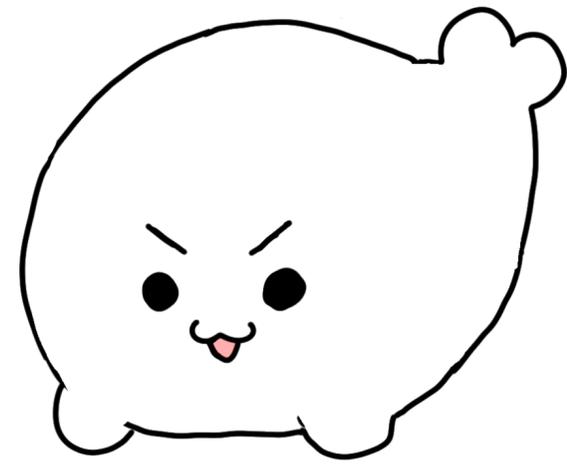


山下 友輔(やました ゆうすけ)

ソフトウェアテストに専門性を持つ、大阪在住のバキバキQAエンジニア。なによりDirty Testerでもある。
2018年に第三者検証会社に第二新卒として入社後、派遣テストターとして業務をこなしつつTPIというテストフ
技術について学ぶ。

テストにおけるさまざまな専門性

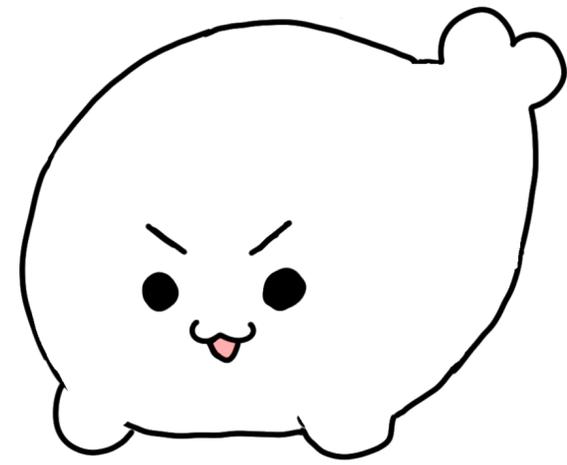
- テスト実行者
- テスト設計者
- テスト計画者
 - モニタリングとコントロールができないタイプの人もある
- テストマネージャー
- テスト実行マネージャー
- テスト自動化エンジニア
- SET
 - テスト自動化エンジニアとSETは違うのですよ
- QA



色々あるんだね
え～
でも、こういう
思想が差別を増
長させてるん
じゃないかとも
僕はおもうよ

テストにおけるさまざまな専門性

- テスト実行者
 - テスト設計者
 - テスト計画者
 - モニタリングとコントロールができないタイプの人もある
 - テストマネージャー
 - テスト実行マネージャー
 - テスト自動化エンジニア
-
- SET
 - テスト自動化エンジニアとSETは違うのですよ
 - QA



テスターってテスト実行だけする人じゃないなの？

**私のテスターの
スコープはこのへん
SETがテスターかどうかは
意見が分かれる**

QAの専門性

それは…

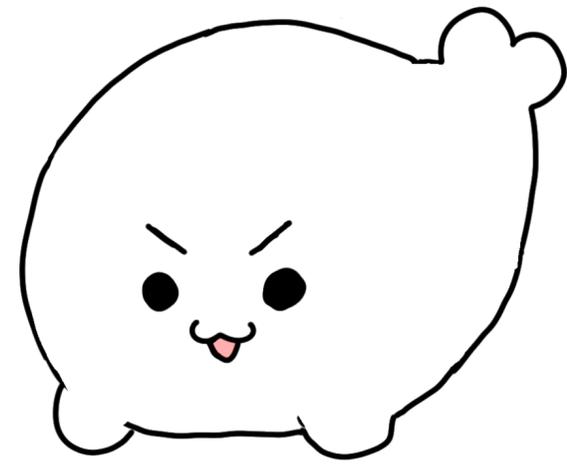
QAの専門性



全部です

QAエンジニア = フルスタック

- ”QAエンジニア“は全員参加の品質保証を担う
 - だから**フルスタックであるべき**と考える
 - つくる技術、確認する技術、運用する技術、売る技術
etc
- 顧客満足に関わるすべての技術を結集して日本的な意味での「品質保証エンジニアリング」をすべきだと考える



やまずんはFull
Stuck QAだね！

“品質はみんなです”以前の話

よくある“品質はみんなです”

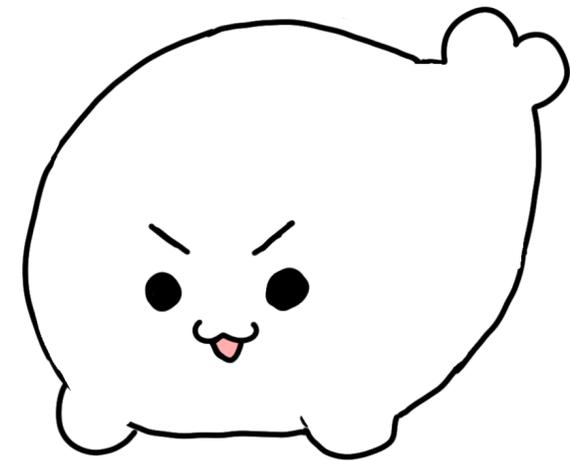
だけどそもそも

開発はみんなで行う

ビジネスはみんなで行う

ということを忘れてはいけない

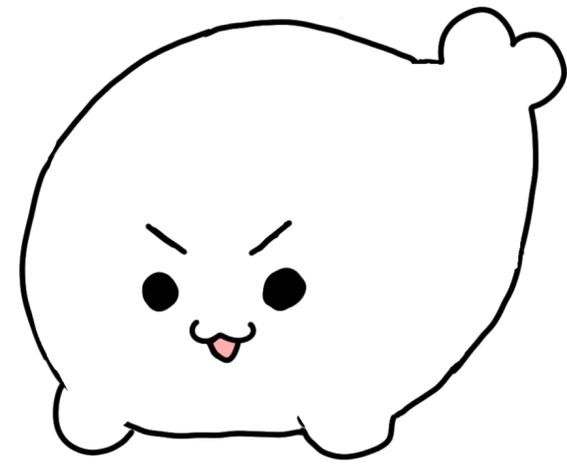
その前提の中で**分業**したり**専門性**があるということ



QAだけが自分の
責任をみんなで
担えると思って
るやつは傲慢だ
よね～

私が考える「品質、QA、QC、テスト」

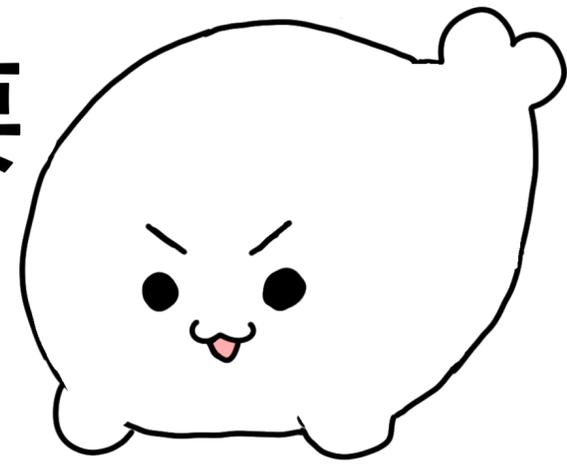
- 品質…顧客がハッピーになる度合い
- QA…QCが十分だって説明可能にすること
- QC…品質を高めるためにやるすべて
- テスト…QCのうちのひとつの手段



シンプルに考え
すぎじゃない？

チームにおいてテスターではなくQAである必要

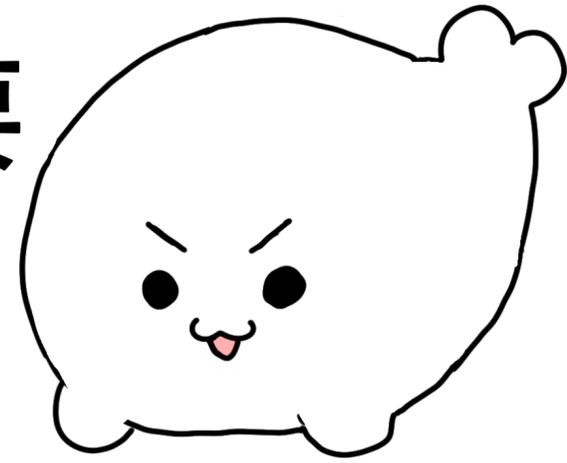
- 今風でクロスファンクショナルなチームの場合、テストという単一のスコープをやるのではなく、品質保証という責務であったほうがいいという考え方
- テスターを業務のスコープと捉えるのか、専門性と捉えるのか、それによって違ってくる
- QAのためにテスターならいいと思うけど、「**テストし
かさないQA**」を日本語として捉えると違和感を感じて
しまう体になってしまった



「テスターじゃ
なくてQA」って
人多いよねえ

チームにおいてQAではなくテスターである必要

- そもそもQAとは全員で担うものなのだから、「QA」エンジニアというロールが識別されるのは変な感じがする。
- 人間に生まれたからと言って「人間」という名前をつける人はあんまりいない
- 開発もデザイナーも全ての人は品質保証を担うQAであり、その中で専門性がある「テスター」の方がいいんじゃないか？

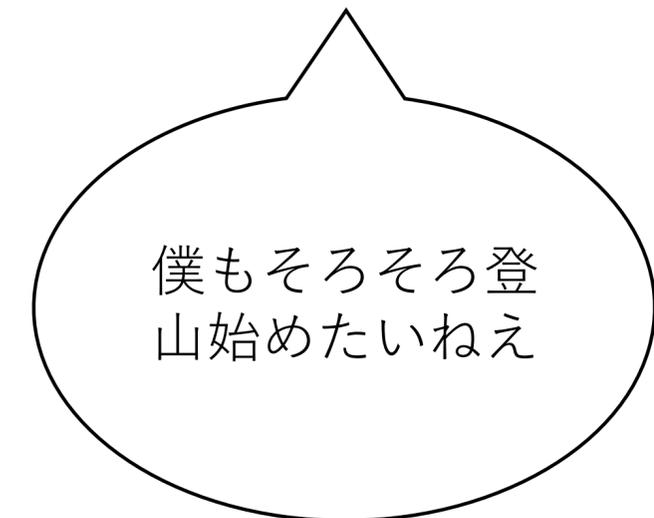
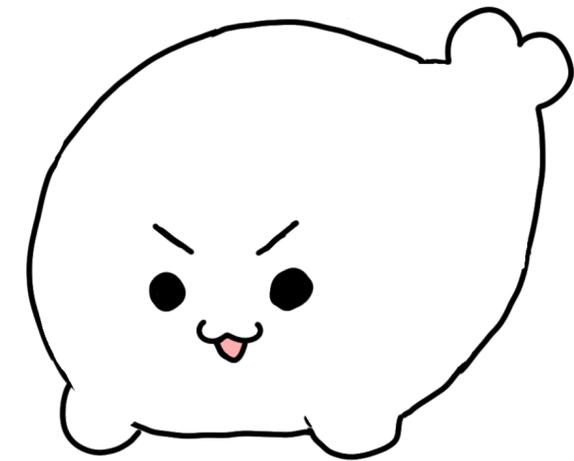
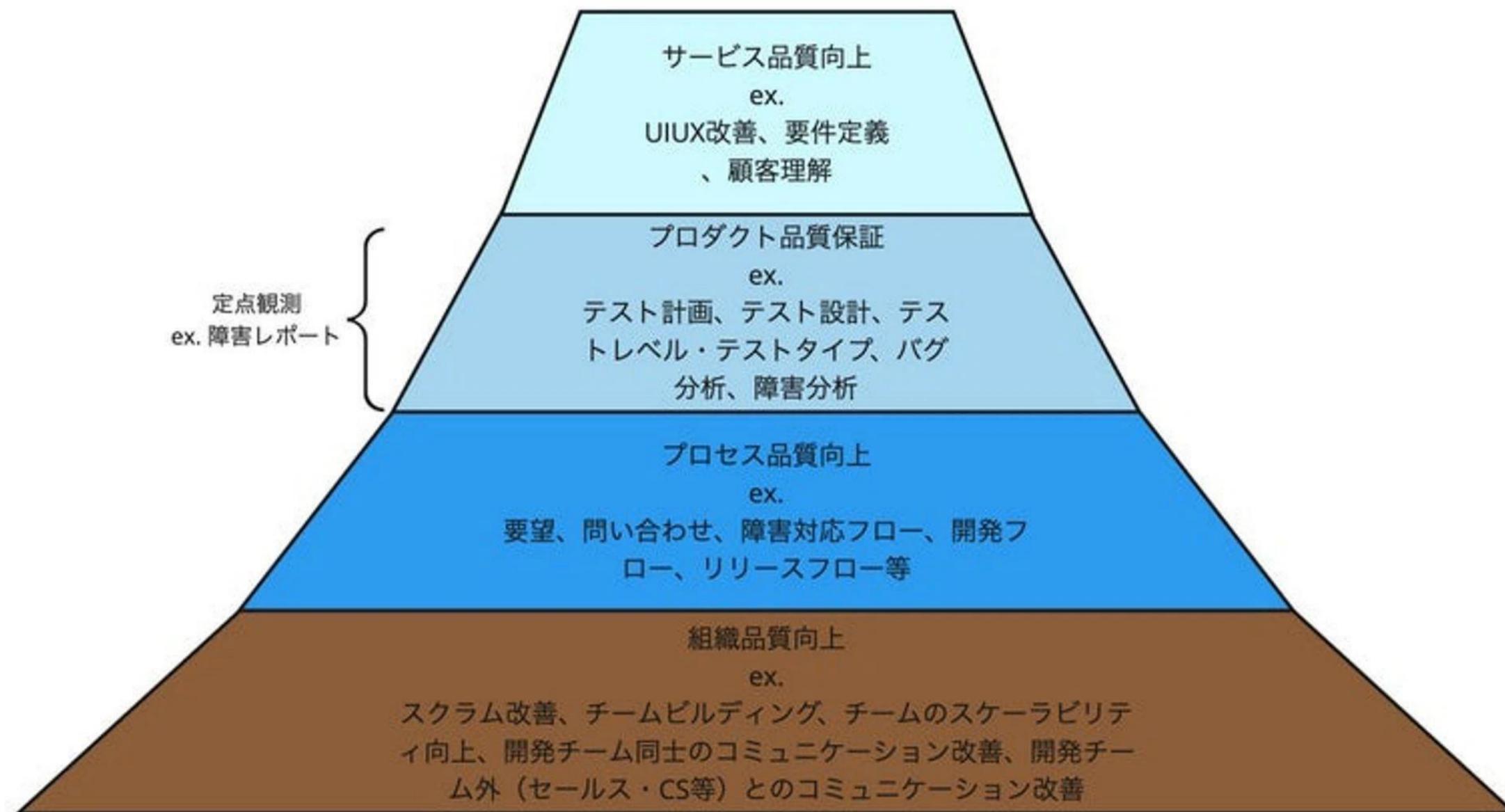


どっちやねん

真面目な話、自分が作った製品を常に批判的に見るのは無理があるから、QAであれテスターであれ何かしら必要だとは思う

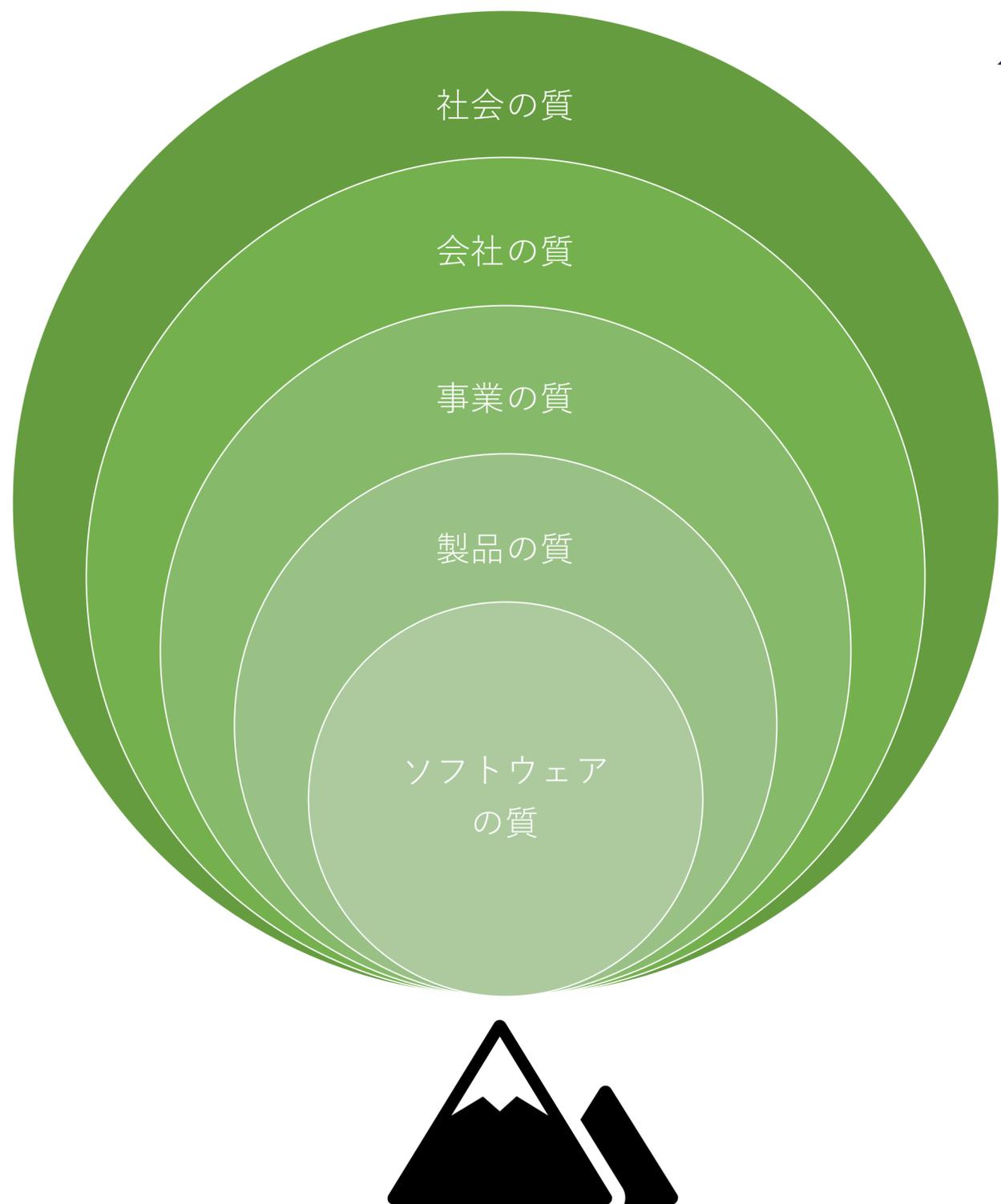


品質富士山こそ品質保証の真髄である



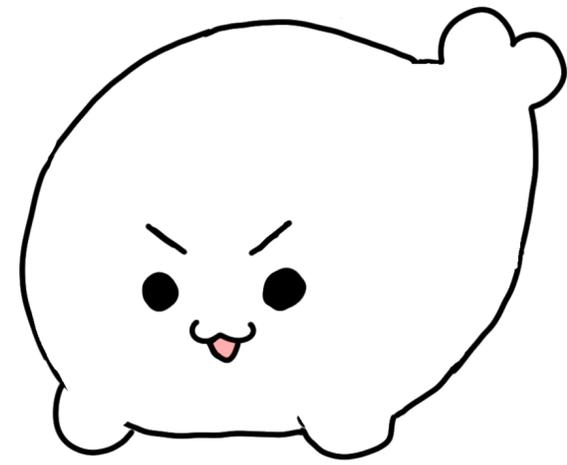
ログラスQAのミッション・ビジョン・バリューを策定しました, https://note.com/k_kotatsu1992/n/nd639aa4b5692

質のランドスケープ

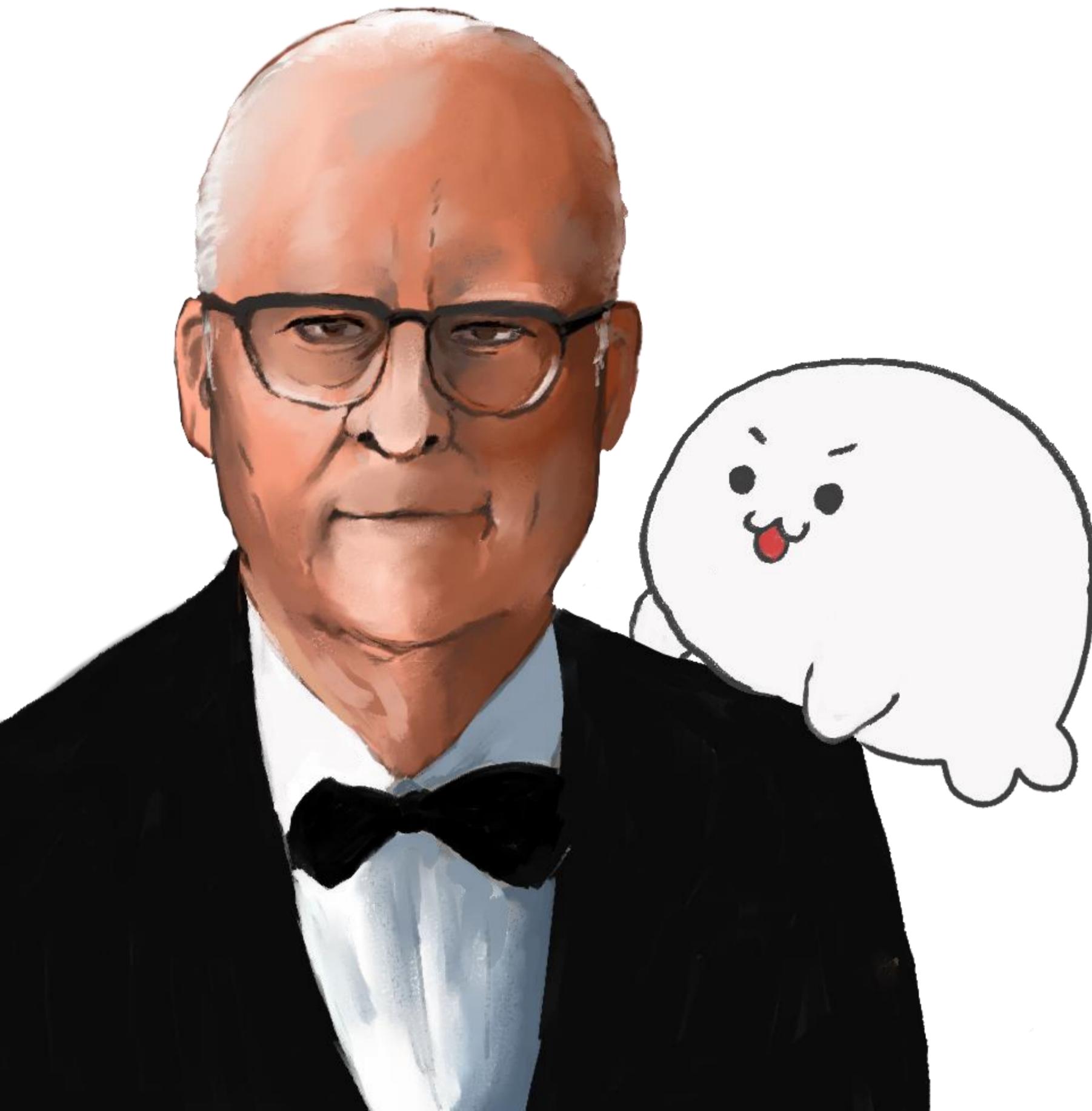


品質富士山の高みから
「質のランドスケープ」
を見下ろす

高ければ高いほど
我々は遠くをみることが
できる



何言ってるんだ



質のランドスケープ
を広げるために
我々は時に
巨人の肩にも乗る

伝統と進化を両立させる両利きのQA



時代遅れでブレーキ扱いのQAから、
イマドキでアクセルとなるQAへの脱皮

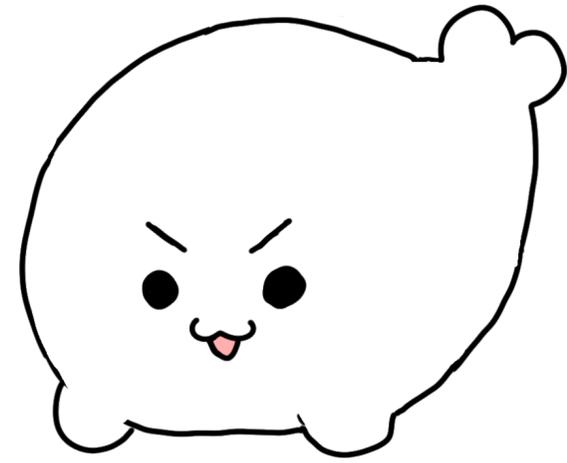


2023/7/24 (月)

SQiPソフトウェア品質保証部長の会 第14期成果発表会

電気通信大学 大学院情報理工学研究科
情報学専攻 経営・社会情報学プログラム
西 康晴

@YasuharuNishi / Yasuharu.Nishi@uec.ac.jp

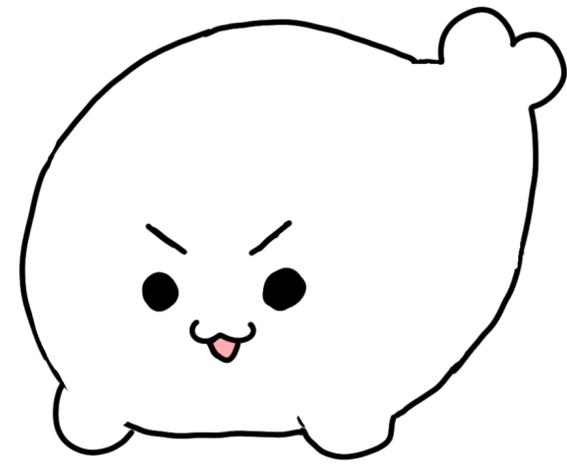


かわいい黒猫
ちゃんだね！

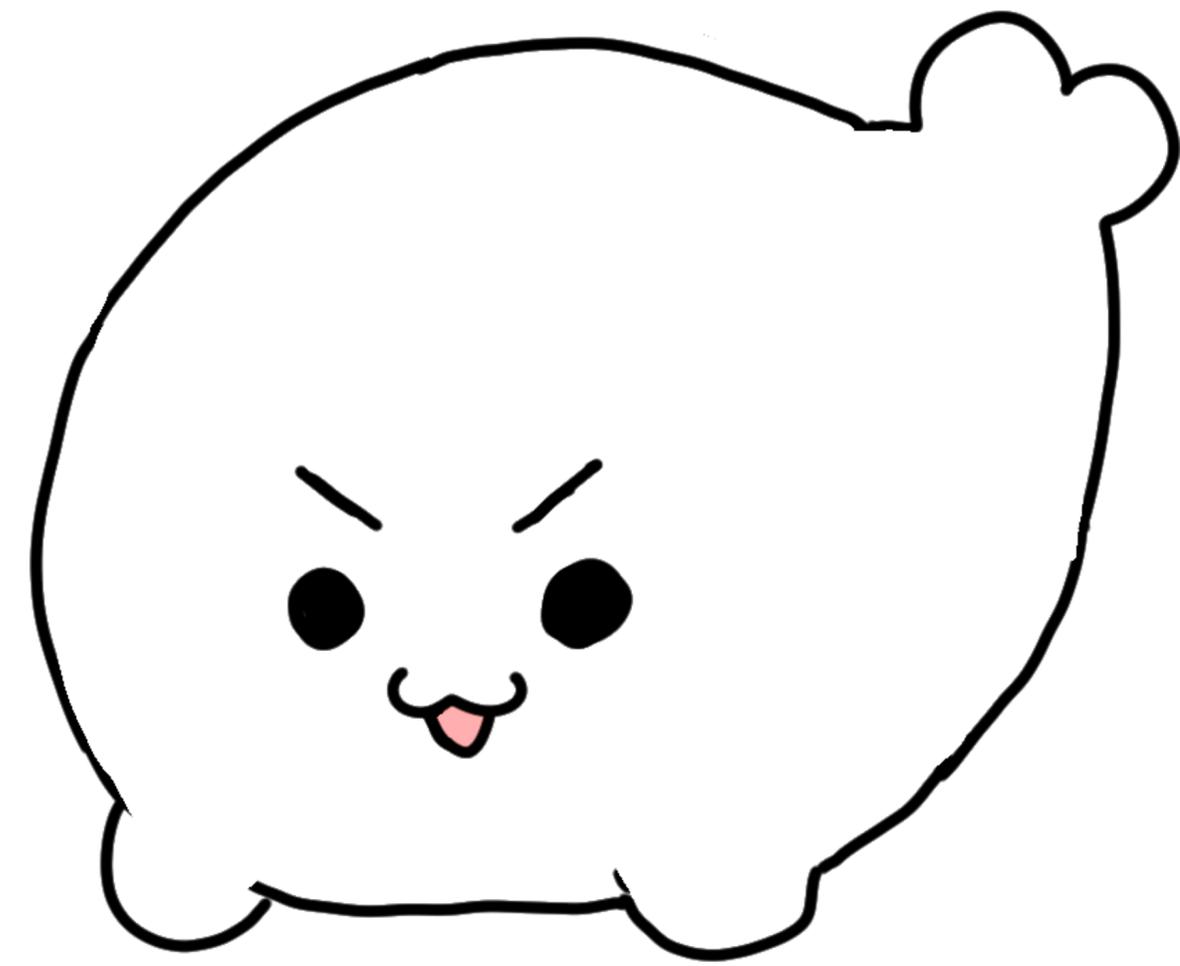
- 伝統を尊重しつつも、ソフトウェアのQAを進化させる必要がある
- ということをすごく具体的に示唆してくれている人もいます

パーフェクトQAパーフェクトスタイル

- フルスタックに成って満足するのではなく、常に進化することを目指すQAスタイル
- 私はパーフェクトQAパーフェクトスタイルになる



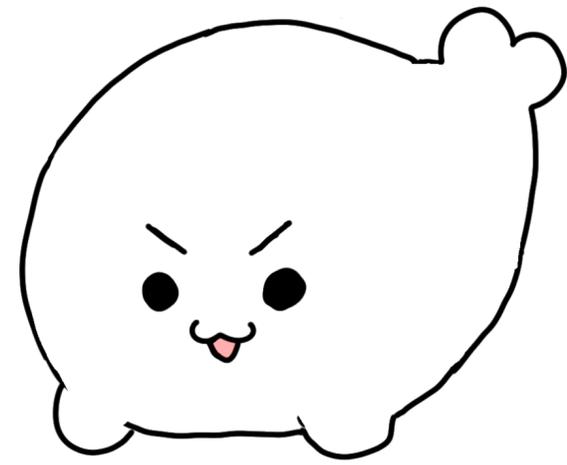
きっと君はそう
ずっとパーフェ
クトなQA



品質ってなんなの？ Part2

品質とは何か

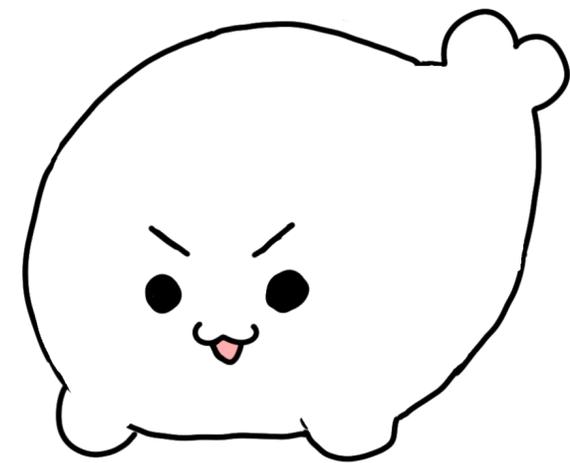
- 品質の定義は色々
 - 「要求との適合」
 - 「顧客満足」
 - 「誰かにとっての価値」



いろいろあるよ
ねえ、これって
叡智だよ

品質とは何か

- 品質の定義は色々
 - 「要求との適合」
 - 「顧客満足」
 - 「誰かにとっての価値」

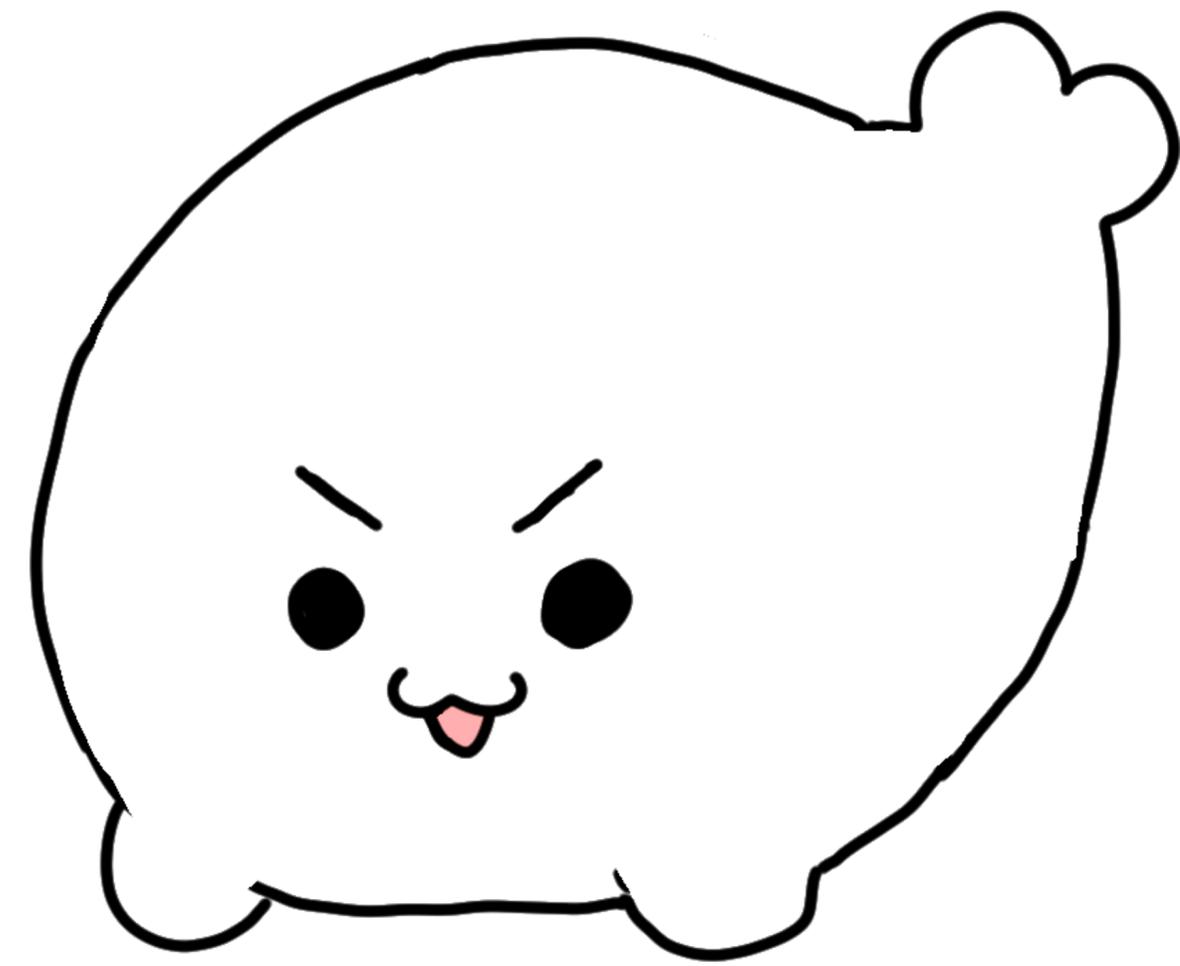


どう考えても大事やろ

最近

そんなに大事なことか？

と思うようになった

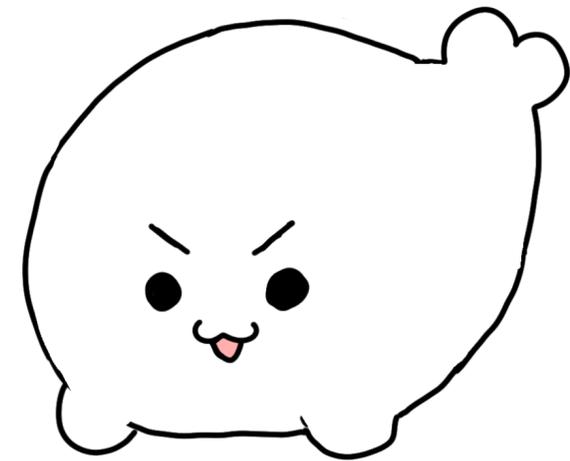


~~品質ってなんなの？ Part2~~

品質とは何かとは何か

「品質とは何か」を考える前に考えること

- 顧客の要求は常に変わっているし、常にこれまでにないものを作らないといけない
- いわゆるVUCA
- 「顧客満足」とは「顧客の言うことを聞く」**ではない**
- **自分たちで考えて、学び、失敗しながら作らないといけない**



みんなわかって
るんじゃない？

よく言われる「品質とは何か」とは何か

「品質」という言葉を言い換えたり、

メタファーすることではない

「顧客満足を目指す」ことが自明ならば

「自分たちにとっての品質は具体的になんなのか」

を考え抜くことが必要

「品質は怖い」

「品質なんもわからん」



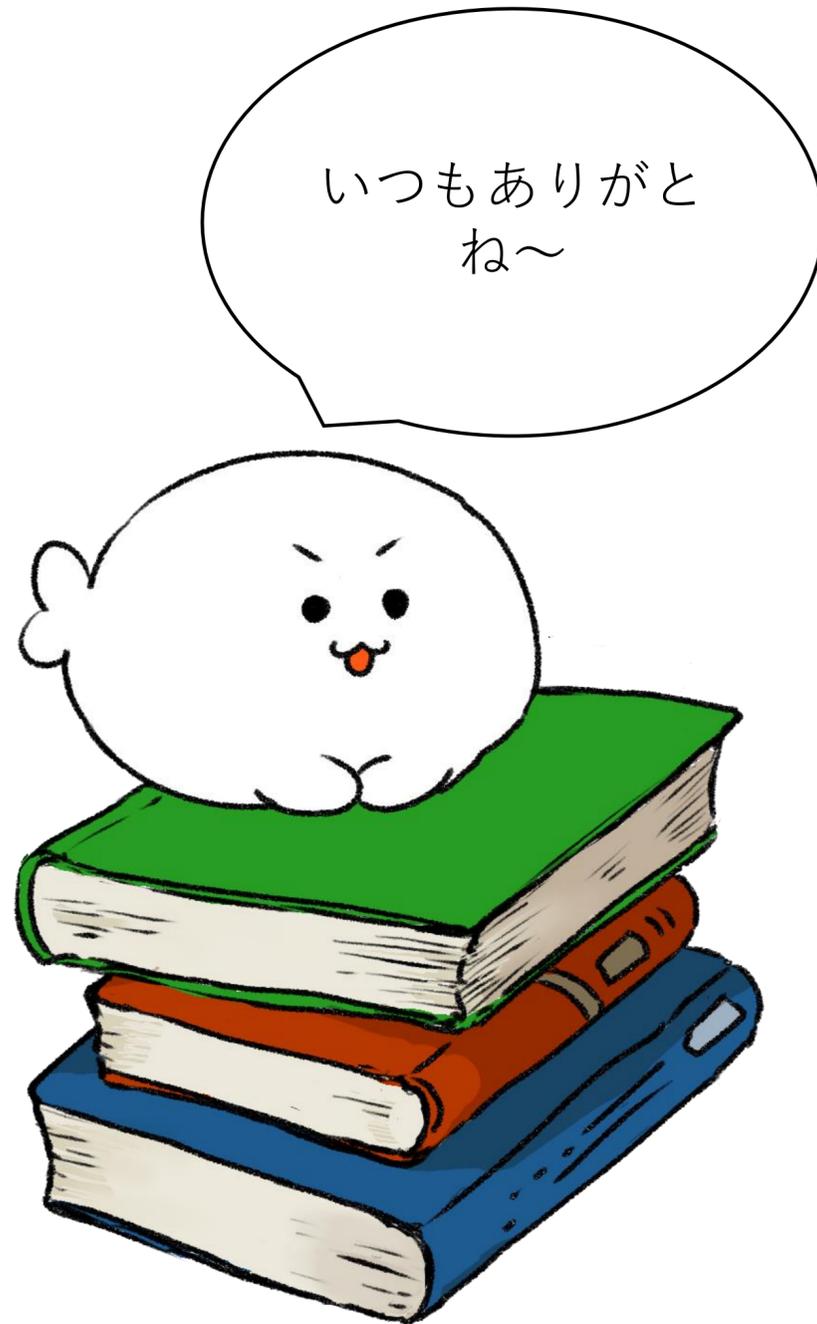
ではなく

品質に向き合い

品質保証を担うエンジニアになる

そうした未来を我々でつくる

参考文献



- コタツ、ログラスQAのミッション・ビジョン・バリューを策定しました、https://note.com/k_kotatsu1992/n/nd639aa4b5692、2024.12.22
- やまずん、品質保証における原則をソフトウェア開発に当てはめて考えてみる、https://zenn.dev/55_ymzn/articles/principles_of_quality_assurance、2024.12.19
- ISTQB:JSTQB,ISTQBテスト技術者資格制度Foundation Level シラバス 日本語版 Version 2023V4.0.J02、https://jstqb.jp/dl/JSTQB-SyllabusFoundation_VersionV40.J02.pdf、2024.12.20
- 西康晴、時代遅れでブレーキ扱いのQAから、イマドキでアクセルとなるQAへの脱皮、https://www.juse.or.jp/sqip/community/bucyo/14/files/shiryou_kichokouen.pdf、2024.12.20
- 新版品質保証ガイドブック、(社)日本品質管理学会、2009年、日科技連出版社
- マネジメントシステムの審査・評価に携わる人のためのTQMの基本、(社)日本品質管理学会標準委員会、2008年、日科技連出版社
- 日本的品質管理ーTQCとは何かー、石川馨、2024年、日科技連出版社
- 品質管理入門、石川馨、2024年、日科技連出版社
- 日本のTQCーその再吟味と新展開ー、小暮正夫、2024年、日科技連出版社
- 現代的品質管理総論、飯塚悦功、2009年、朝倉書店